

市町村名		伊平屋村					
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-①	商工観光産業支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-ア	
担当部署名	総合推進室	事業実施(予定)年度	平成24年～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光リゾート産業の振興	
事業内容	伊平屋村の観光振興を図るため、伊平屋島観光協会へ支援(観光誘客プロモーション、観光情報発信等)を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
		(a) 当初予算額	10,211	12,218	10,211	20,058	15,238
	(b) 予算現額	10,211	12,218	17,058	19,911	17,470	
	(c) 増減額(b-a)	0	0	6,847	▲ 147	2,232	
	(d) 繰越額	0	0	0	0	0	
	A. 計(b+d)	10,211	12,218	17,058	19,911	17,470	
	B. 執行済額	8,996	12,218	15,027	17,972	16,282	
	うち交付金充当額	7,196	8,812	12,021	14,377	13,025	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	88.0%	100.0%	88.1%	90.3%	93.2%	
予算の状況の説明		職員が1名入社したことで、人件費(2,232千円)が増額となった。また、村の実績検査に於いて、商工観光に資することが不適と判断したものは、交付金を充当していないため、1,187千円は交付対象外経費および不用額とした。					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)	達成状況					
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		
	・参画民家50軒を目標するべく各地域戸別訪問の実施	目標	(実施)	()	()	()	
		実績	実施済				
	・参画民家の参入 50軒	目標	(50軒)	()	()	()	
		実績	52軒				
	・他県PR活動の実施	目標	(実施)	()	()	()	
		実績	実施済				
	達成状況説明	・各地域戸別訪問の実施については、各地域戸別訪問の実施を行った。 ・参画民家の参入(50軒)については、戸別訪問の実施により目標以上を達成することができた。 ・他県PR活動については、他県修学旅行フェア等への参加によりPR活動の実施を行った。					
	成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)	基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
民泊利用者数 800人以上		目標	()	(800人以上)	()	()	()
		実績		1,116人			
進捗状況説明	・民泊利用者数800人以上については、実績値1,116人となり、目標以上の利用があった。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	(民家利用者数800人以上) ・地域戸別訪問による参画民家の増加や他県PR活動の実施を行ったことが目標値達成の要因と考えられる。	(民家利用者数800人以上) ・参画民家の増加により受入基盤が整ったことにより、民泊利用者数の増加が考えられるため引き続き人材育成講習会の開催等による質の向上を図る。
今後の取り組み方針		
(民家利用者数800人以上) ・引き続き参画民家の参入を促進するとともに、受入に係る人材育成講習会等の開催を実施し、質の向上を図りリピーターの確保を推進する。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何をを行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
	17,469	16,282	13,025	3,257	1,187
<pre> graph LR A[伊平屋村 16,282千円] --> B[補助金 16,282千円] B --> C[伊平屋島観光協会 16,282千円] </pre> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 観光誘客プロモーション 14,347千円 観光情報発信 930千円 人材育成事業費 548千円 国内旅行傷害保険費 457千円 </div>					

資金の 使途の 流れ、 点検 評価 ・ 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先は「伊平屋島観光協会」で、観光に資する団体であるため、事業内容と一致し適正である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は事業完了後検査を実施、事業内容に資する規模と判断したため妥当と考える。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者との負担関係は補助金以外にも、予算を充当しており妥当と考える。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途については事業目的達成の観点から必要性等について書類の検査を行い、適正と判断した。

市町村名		伊平屋村					
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-②	観光地イメージアップ推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ		
	担当部署名	建設課	事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備	
事業内容	魅力的な観光地づくりの推進を目的とし、海浜、道路、公園など観光客が利用する公共施設等の美化、清掃や花木の植栽などを実施する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	18,632	18,639	21,885	18,751	22,756
		(b) 予算現額	13,379	18,602	21,885	18,446	16,807
		(c) 増減額(b-a)	▲ 5,253	▲ 37	0	▲ 305	▲ 5,949
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0
		A. 計(b+d)	13,379	18,602	21,885	18,446	16,807
	B. 執行済額		13,273	18,602	20,774	18,213	14,956
	うち交付金充当額		10,618	14,881	16,619	14,570	11,964
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		99.2%	100.0%	94.9%	98.7%	89.0%
予算の状況の説明		作業員は目標値より多くの人材を確保できたものの、屋外での作業となるため、猛暑が続く夏期は連日の作業が難しく、勤務日数が減ったことにより、5,949千円の予算減となった。しかしながら当初計画していた事業内容は実施し、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みても予算規模は適正であったと考える。					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
	効率よく作業を行うためのチーム編成		目標 (16名)	(16名)	(16名)	(16名)	
	実績		22名	23名	23名	21名	
草刈機等のメンテナンス強化		目標 ()	()	()	(作業後のメンテナンス実施)		
実績		/			作業後のメンテナンス実施済		
達成状況説明	環境美化作業員については、21名を雇用することができ、目標値を達成した。また、美化作業終了後には草刈り機等のメンテナンスを定期的に行い、突発的な故障のリスク軽減に努めた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H28年度	H29年度	H30年度	目標値(R1年度)
	観光地周辺の景観形成及び道路環境について、観光地としてふさわしい景観及び道路環境であると感じたかアンケート調査により検証(80%以上)		目標 ()	()	()	(80%以上)	(80%以上)
	実績		/			75%	/
	【参考指標】 観光アクセス道路の美化清掃:29.5km 観光関連施設の美化作業 18カ所		目標 ()	(51.6km 18カ所)	(29.5km 18カ所)	(29.5km 18カ所)	()
	実績		/			51.6Km 18カ所	51.6Km 18カ所
進捗状況説明	県道田名野甫線、村道アグチャー線、村道クマヤー線、村道アッチャビ線、村道アサ線、村道田名島尻西線、村道野甫線、村道屋蔵線、我喜屋ダム線、村道灯台線の11カ所、観光地に関しては前泊後背地、念頭平松、米崎海浜公園、野甫展望台、伊平屋灯台、上ノ川公園、林道の7カ所 計18カ所の美化作業を行った。 アンケート調査においては、目標値より5%下回った。						

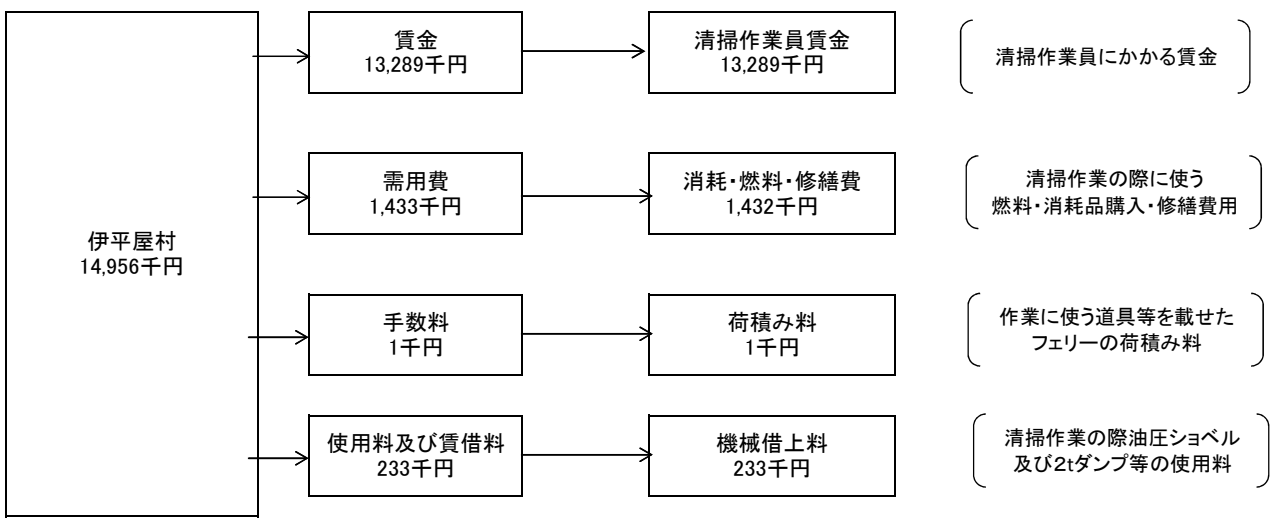
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>・アンケート調査においては、目標値より下回ったものの、村民の多くの方から当事業は必要との声を頂いている為、次年度目標達成に向け、継続的にかつ効率よく作業を実施する。</p>	<p>・効率よく作業が行えるよう、年間を通した作業計画をたてると共に、定期的に進捗会議等を実施し、天候不良等があった場合の計画変更も踏まえ、更に作業の効率化を図る。</p>

今後の取り組み方針

作業計画および進捗会議を実施し、天候不良等があった場合の計画変更も踏まえ、効率的な美化作業を実施する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
14,956	14,956	11,964	2,992	0



資金の 使途の 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○支出先については、事業に必要な経費を支出しているため妥当である。 ○予算規模については、事業内容に見合うものとする。 ○費目、使途については目的に即し、必要なものであったと判断した。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

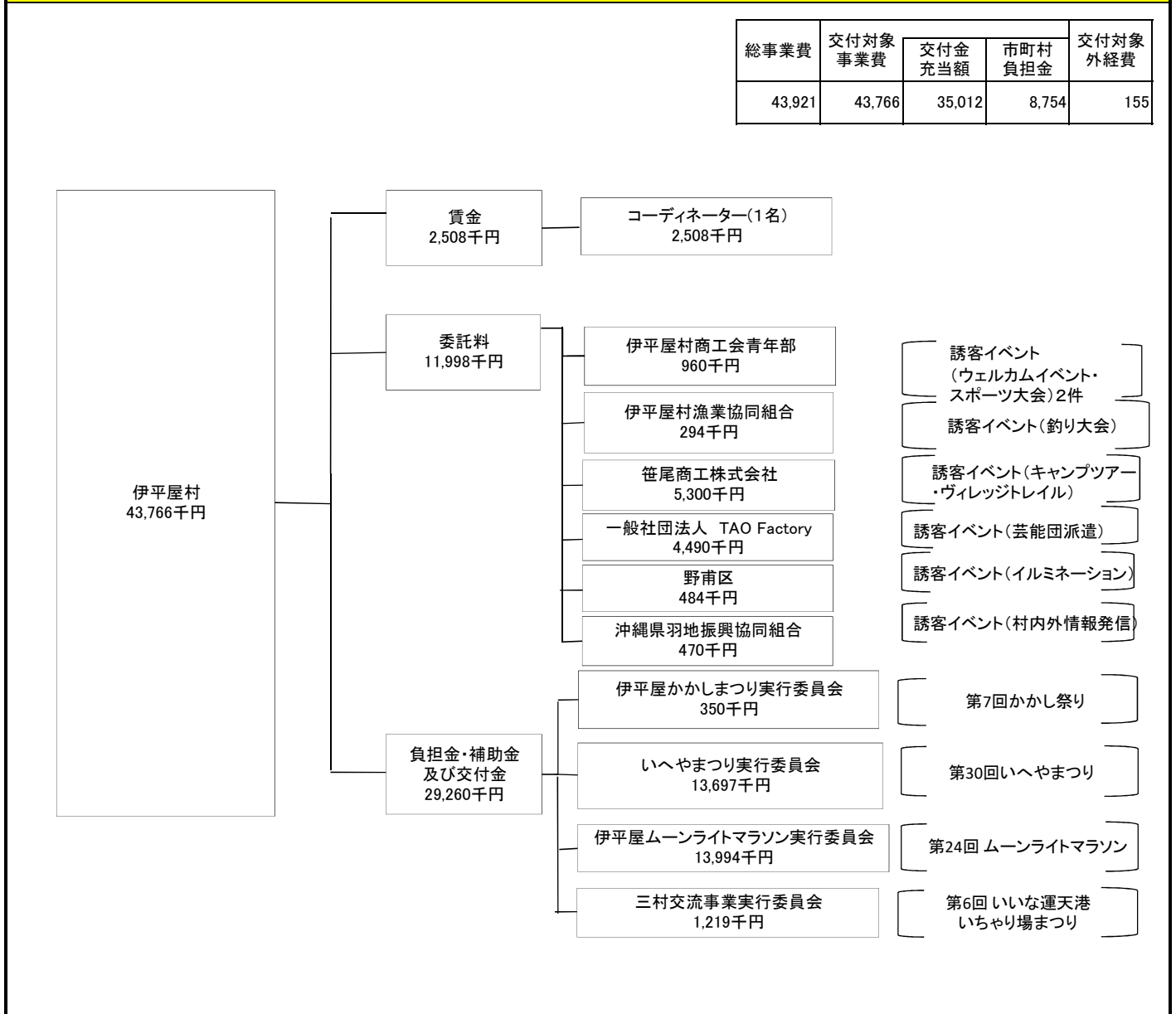
市町村名		伊平屋村					
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-③	誘客イベント推進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-ア	
担当部署名	総合推進室	事業実施(予定)年度	平成24年～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光リゾート産業の振興	
事業内容	村のメインイベントである「いへやまつり」「伊平屋ムーンライトマラソン」や村の自然資源等を活用したイベント並びに、島外において「伊平屋村」をPRするイベントを開催することにより、入域観光客数の増加を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	23,108	29,694	31,702	35,222	44,235
		(b) 予算現額	15,330	31,973	31,717	35,222	44,235
		(c) 増減額(b-a)	▲ 7,778	2,279	15	0	0
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0
		A. 計(b+d)	15,330	31,973	31,717	35,222	44,235
	B. 執行済額		15,330	31,973	31,717	33,135	43,766
	うち交付金充当額		12,264	25,578	25,373	26,507	35,012
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	100.0%	94.1%	98.9%
予算の状況の説明		村の実績検査に於いて、イベント開催委託及びイベント開催支援の実績額に対し、不適と判断したものは、交付金を充当していないため、469千円は交付対象外経費および不用額によるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)	達成状況					
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
	・イベント開催委託 8件	目標	(10件)	(10件)	(9件)	(8件)	
		実績	10件	9件	9件	8件	
	・イベント開催支援 4件	目標	(3件)	(3件)	(4件)	(4件)	
		実績	3件	4件	4件	4件	
達成状況説明	・イベント開催委託については、8件を目標とし目標通り達成した。 ・イベント開催支援については、伊平屋村のメインイベントである「いへやまつり・伊平屋ムーンライトマラソン」や、自然資源を活用したイベント並びに島外において「伊平屋村」をPRするためのイベントを開催し、目標通り達成した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)	基準値(H27年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(R3年度)	
	村内入域観光客数 22,861人以上	目標	() (2,861人以上)	()	()	()	(21,000人)
		実績		21,885人			
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	・村内入域観光客数について、前年度より増加したが、沖縄県内はしか注意報発令やインフルエンザ注意報の発令によるスポーツイベント中止等により目標の22,861人を達成することができなかった。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	(入域観光客数) ・目標に届かなかった原因として、沖縄県内はしか注意報の発令や本村インフルエンザ注意報の発令によるスポーツイベント中止が考えられる。	(入域観光客数) ・不測の事態に対応できるよう開催日程の再検討や代替案の企画を検討する必要がある。

今後の取り組み方針

(入域観光客数)
・観光客の増加に向けた早めのイベント情報等の情報発信や、不測の事態に備えた対応案及び代替案を検討し、中止ではなく延期での対応等、運営体制の強化を行っていく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の 使途の 流れ、 費目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業については、本村の地域性を十分考慮し積極的な事業を行っている村内団体、また村内外の業者とも情報交換を積極的に行え村内情報のPRについて高い効果を発揮できる団体を選定したため妥当である。補助金については、村の発展に寄与する団体で構成される組織を選定したため妥当である。 ○予算規模は事業完了後検査を実施、事業内容に資する規模と判断したため妥当と考える。 ○受益者との負担関係は交付要綱に基づき精査、妥当と判断する。 ○費目・使途については、精算段階で検査を実施、目的に即し必要なものであったと判断したため、限定していると判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		伊平屋村					
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-④	海浜公園植栽及び緑化体制整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ	
担当部課名	建設課	事業実施(予定)年度	平成24~30年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備 Ⅲ-1-(1)	
事業内容	観光地として魅力的な景観形成を図るため、公園内の植栽をおこなうとともに、村民参画による島内緑化推進体制の整備を行う。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R3年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H27年度	H27年度(繰越)	H28年度	H29年度	H30年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	11,500	0	11,758	13,716	3,000
	(b)予算現額	11,460	0	11,758	12,981	3,024	
	(c)増減額(b-a)	▲40	0	0	▲735	24	
	(d)繰越額	0	6,692	0	0	0	
	A.計(b+d)	11,460	6,692	11,758	12,981	3,024	
	B.執行済額	4,768	6,692	11,700	12,977	3,024	
	うち交付金充当額	3,814	5,353	9,360	10,381	2,419	
	次年度繰越額	6,692	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	41.6%	100.0%	99.5%	100.0%	100.0%	
予算の状況の説明	予算に関して事業計画通りに執行出来た。						
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
	生育管理研修の実施	目標	(視察研修植栽研修の実施)	(視察研修植栽研修の実施)	(視察研修植栽研修の実施)	(生育管理研修)	
		実績	島外視察研修植栽実施研修の実施	島内生産者の圃場視察植栽実施研修を実施	島内生産者の圃場視察植栽実施研修を実施	生育管理研修を実施	
	生育調査及び施肥下刈りの実施	目標	()	()	()	(生育調査及び施肥下刈り)	
		実績				生育調査及び施肥下刈りを実施	
達成状況説明	樹林成長の現況把握及び植栽樹木の将来像の検討、樹林育成監理作業研修を実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H28年度	H29年度	H30年度	目標値(年度)
	生育調査及び施肥下刈りの完了 生育管理研修の完了	目標	(1,610㎡)	(利便性の向上)	(1,610㎡)	(研修及び実地作業の完了)	()
		実績		利便性の向上	1,610㎡	研修及び実地作業完了	
	【参考指標】 村民参画による緑化推進体制の整備	目標	()	(村民参画による緑化推進体制整備)	(村民参画による緑化推進体制整備)	(村民参画による緑化推進体制整備)	()
		実績		島内生産者の圃場視察植栽実施研修を実施	村民参画による緑化推進体制により講習会実施	村民参画による緑化推進体制整備	
	進捗状況説明	樹林育成管理作業を具体的に実施するため、育成管理の中心となるリーダーの育成研修を行った。また、研修後リーダーを中心に村民も参加しながら作業研修も実施した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	平成24年度から公園緑化事業として植栽計画・設計及び幼木植栽を中心とした植栽工事を行ってきた。最終年度となる30年度でこれまでの育成状況をまとめ今後の管理及び樹木育成管理人を育てる研修を行った。	育成環境により成長の差が見られる箇所があるので周辺の風環境に左右されないよう防風機能の強化を行う必要がある。海岸線部の樹林の高さや密度によって影響が出ている箇所があるため補植も行う必要がある。
今後の取り組み方針		
今年度まとめた内容課題を含め、樹木育成管理人研修を行ったメンバーが中心となり育成管理や住民との共同作業など施設の緑化活動を組織だった継続的な活動が期待される。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
3,024	3,024	2,419	605	0

```

graph LR
    A[伊平屋村  
3,024千円] --> B[委託料  
3,024千円]
    B --> C["(有)MUI景画  
3,024千円"]
    C --- D[公園緑化・育成管理業務]
  
```

資金の 用途の 流れ、 点検 評価・ 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○専門知識と現況を把握し、効率的に進めるため随意契約を行った。 ○予算規模については、複数の見積りにより最低価格を設計額とし適正であった。 ○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について完成時の支出等に関する書類の検査確認をし、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

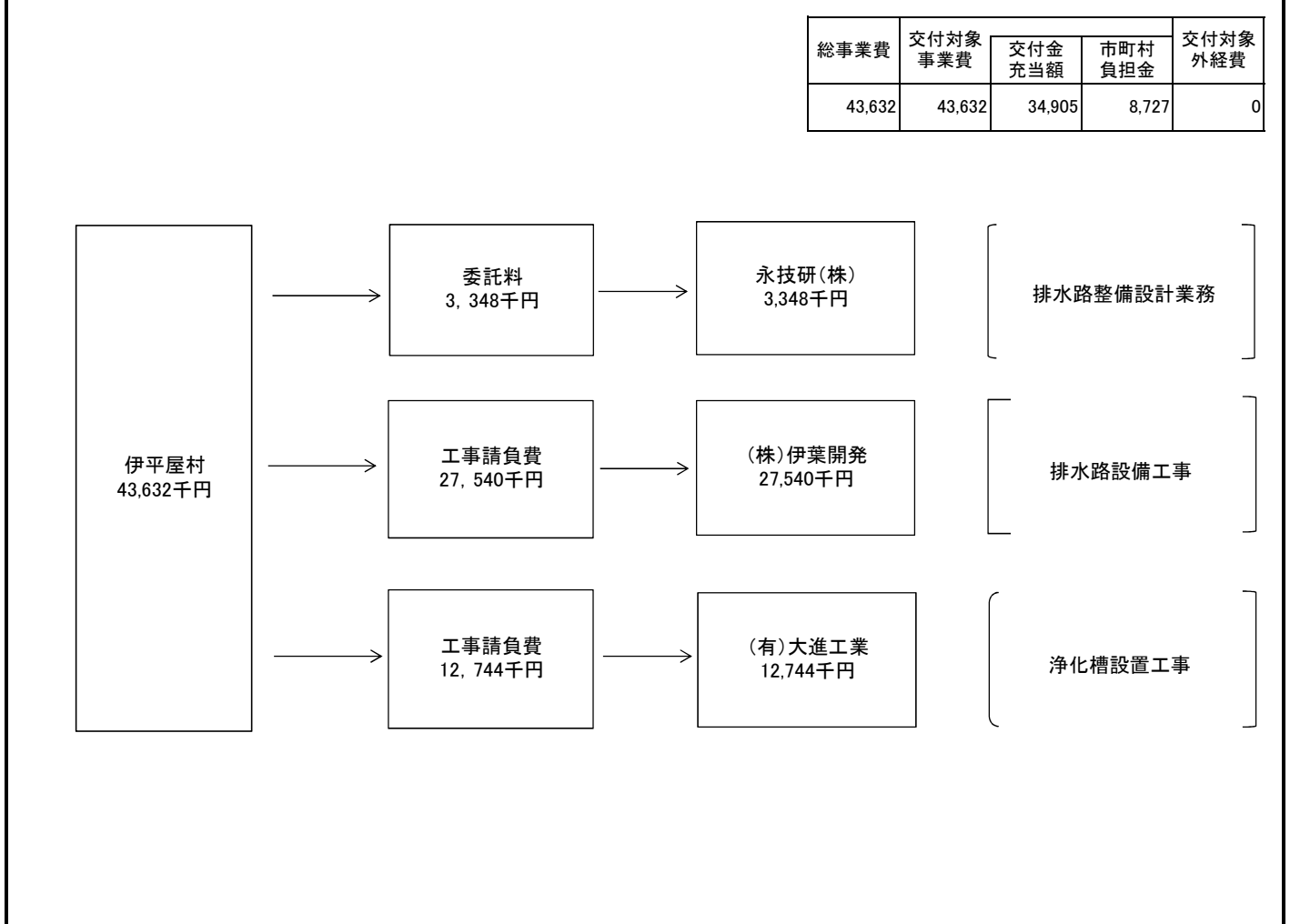
市町村名		伊平屋村					
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑤	公園修景等整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ		
担当部署名	建設課	事業実施(予定)年度	平成28~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	国指定を受けた念頭平松を中心とした、景観に配慮した、衛生施設(トイレ)、休憩施設の整備を行い、快適性、利便性の向上とともに観光地としてのイメージアップ、伊平屋らしい原風景の創出を図る。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R4年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H28年度	H29年度	H29年度(繰越)	H30年度	R1年度
	予算の状況	(a)当初予算額	6,000	25,786	-	39,237	
		(b)予算現額	5,999	30,828	-	43,632	
		(c)増減額(b-a)	▲1	5,042	-	4,395	
		(d)繰越額	0	0	18,242	0	
		A.計(b+d)	5,999	30,828	18,242	43,632	
	B.執行済額		5,999	12,586	18,242	43,632	
	うち交付金充当額		0	10,069	14,594	34,905	
	次年度繰越額		0	18,242	0	0	
	執行率(%) (B/A)		100.0%	40.8%	100.0%	100.0%	
予算の状況の説明		念頭平松公園の造成工事を予定していたが、排水路整備工事を先に行うため、工事の設計の追加により増額。また、トイレ建築の完成に伴い浄化槽の設置工事を行った。					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	給排水工事の施工	目標	(トイレ給排水工事の完了)	()	()	()	
		実績	トイレ給排水工事の完了				
敷地造成工事の施工	目標	(敷地造成工事の完了)	()	()	()		
	実績	未実施					
達成状況説明	給排水工事を予定通り実施することができた。 当初予定していた敷地造成工については、年度当初の検討委員会にて公園内の池を埋設することとなったため、敷地造成工を後送りにし、先に排水路工を行う事とした。それに伴い、排水路工の設計も必要となるため現場管理では無く排水路設計を同じように当年度で行う事となった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(R4年度)
	トイレ給排水工事の完了	目標	()	(給排水工事の完了)	()	()	()
		実績		給排水工事完了			
	敷地造成工事の完了(造成、構造物撤去、仮設排水路)	目標	()	(敷地造成工事の完了)	()	()	()
		実績		未実施			
	駐車場敷地造成工事の完了	目標	()	(駐車場敷地造成工事の完了)	()	()	()
		実績		未実施			
	排水工事の完了	目標	()	(排水工事の完了)	()	()	()
実績			給排水設備工事完了				
【R4成果目標】 利便性が確保されたか(80%以上)を含め、当該施設のあり方についてアンケート調査により検証する。		目標	()	()	()	()	(80%)
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレ給排水工事を予定通り実施し完了することができた。 ・当初予定していた敷地造成工については、上記活動目標の達成状況に記載の通り先送りとなったため、令和元年度にて対応する。 ・駐車場敷地造成工については上記活動目標の達成状況に記載の通り先送りとなったため、令和2年度にて対応する。 ・排水工事を予定通り実施し完了することができた。 						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	(トイレ給排水工事) ・計画通り実施し完了できた。 (敷地造成工事) ・公園内の池は、大雨時以外の時は池が干上がっており景観を損なっているため埋めた方が良いとの意見が多くあったが、池は外部からの流入水の調整池としても機能しており、周辺の農業用地を管理する部署からは存続要望があったため、調整に時間を要した。 ・公園内の池を埋設することに計画変更したため排水路工事を優先し未実施。 (駐車場敷地造成工事) ・公園内の池を埋設することに計画変更したため排水路工事を優先し未実施。 (排水工事) ・敷地造成工事の変更により排水路工設計・工事が追加となったが、計画通り実施し完了できた。	(トイレ給排水工事) ・関係機関と連携し計画通り工事を完了することができたため、改善の必要はないものとする。 (敷地造成工事) ・関係各課および地域住民等からの意見を参考に、検討委員会にて公園内の整備箇所及び優先順位を検討する。 ・排水路工事を優先のためR1年度へ移行 (駐車場敷地造成工事) ・排水路工事を優先のためR2年度へ移行 (排水工事) ・排水路工事中、湧き水の量が多く工事に支障をきたしたが、関係機関と連携し早急な対応で影響を最小限に抑えることができたため、改善の必要はないものとする。

今後の取り組み方針

関係各課及び地域住民の意見を踏まえ、決定した優先順位に基づいて、速やかに整備着手する。
 また、検討委員会にて山手の水を公園外に処理する事(排水路工事)になったため、山手の水とほ場からでる赤土まじりの水を分散処理し下流側海域にあるもずく養殖に与える影響を最小限に抑えるよう環境に考慮し取り組む。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何をを行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託・工事業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。 ○予算規模においては、見積及び沖縄県土木設計業務積算基準に基づき積算したことから適正であったと考える。 ○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなので適正である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		伊平屋村					
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑥	伊平屋村「琉球の兆し」普及啓発事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ	
担当部課名	教育委員会	事業実施(予定)年度	平成30~令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備 Ⅲ-1-(1)	
事業内容	文化資源及び観光資源としての価値を高めるために村文化財の修復を行い、併せて案内解説板等の設置を行うことで観光客の利便性向上を図る。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R3年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		
	予算の状況	(a)当初予算額	2,970				
		(b)予算現額	2,970				
		(c)増減額(b-a)	0				
		(d)繰越額	-				
		A.計(b+d)	2,970				
	B.執行済額		1,687				
	うち交付金充当額		1,349				
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		56.8%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
予算の状況の説明		委託料の内文化財の修復について作業日が28日間減ったことにより、人件費700千円減、諸経費122千円減となった。加えて輸送に本村職員が立ち会うことで輸送費が352千円減額となった。また案内解説版設置についてはデザイン変更により110千円減額となった。					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	螺鈿蔵の修復作業実施	目標	(実施)	()	()	()	
		実績	実施				
	田名城跡案内板の設置	目標	(1基)	()	()	()	
実績		1基					
達成状況説明	予定通り、螺鈿蔵の修復作業の実施および田名城案内板の設置(1基)は実施できた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(R3年度)
	螺鈿蔵の修復率30%	目標	()	(30%)	()	()	()
		実績		30%			
	田名城跡案内板設置完了	目標	()	(設置完了)	()	()	()
		実績		設置完了			
	【R3年度成果目標】 民俗資料館入館者数 1,338人		目標	()	()	()	(1,338人)
進捗状況説明	螺鈿蔵の修復及び田名城跡案内看板設置について、滞りなく作業を行うことができ、目標値としていた修復率30%、案内板設置完了を共に達成することが出来た。						

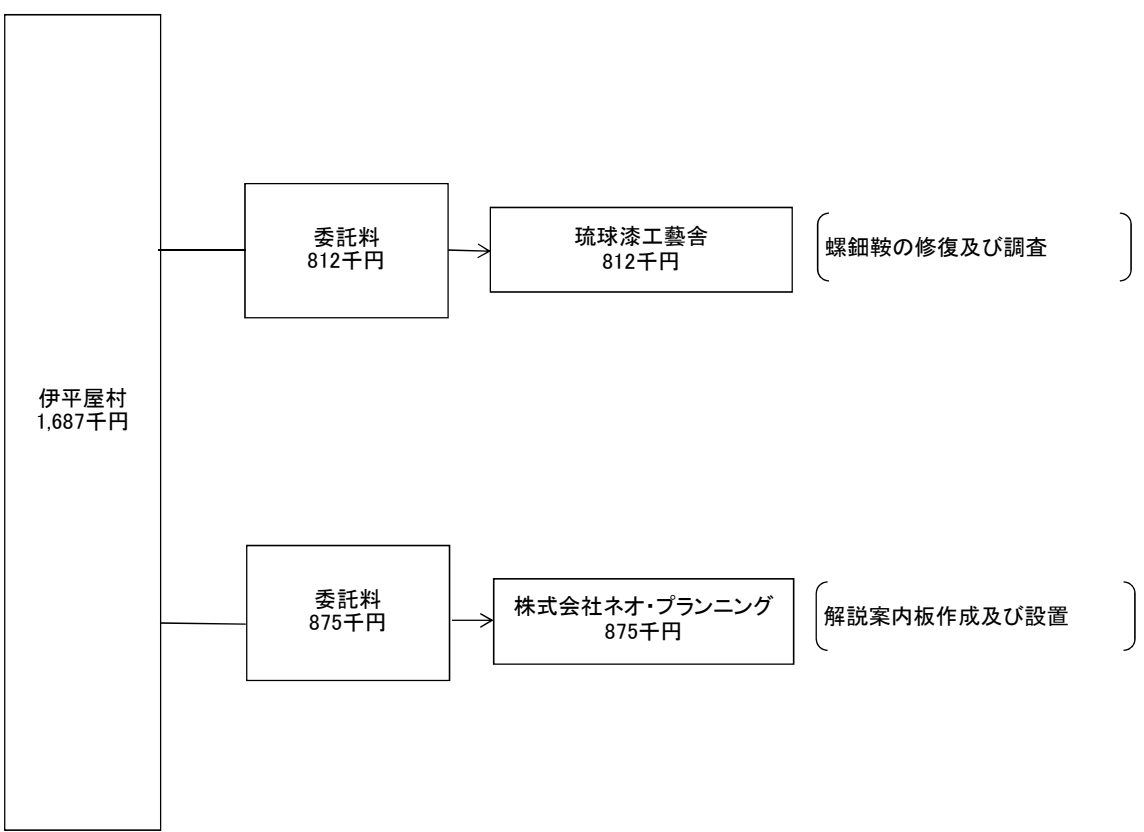
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	(螺鈿鞍修復)委託する際に、輸送方法や修復方針・作業工程をどのように行うかなど調整に時間がかかった。輸送は専門業者が行うが、文化財輸送の場合は職員の立ち会いが慣例となっており、また受託先からも輸送に立ち会うよう求められたため、日程調整が必要となった。修復方針は文化庁の指針に従ったが、修復する箇所全てが文化庁指針がベストとはならないため、個別の判断を要する箇所が多かった。作業工程については、鞍の修理は県内に事例が無く、修復師が来島し、現物の見ながら行程を決めるというプロセスであったため、時間を要した。	螺鈿や漆製品を文化財として所蔵している他市町村の博物館では、修理を行う前に市町村の美術工芸・民俗文化財として指定し、その際にある程度の修復方針も定めているようである。また食器や美術品なら蓋だけ、入れ物だけの修復を委託し、職員で輸送できるように小口の発注とし日時調整を単純化している。他市町村の博物館にならない、事前に修復方針を定め、職員で輸送できるよう修復場所の作業工程を決めることで、調整時間の軽減を図り、各行程を計画的に進めることができると考える。

今後の取り組み方針

螺鈿鞍の修復について、事前に修復方針を定め、各作業行程(修繕部分の優先順位、輸送等)を明確化することで、効率よく修復作業が行えるよう取組み、鞍の修復率100%の達成を目指す。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
1,687	1,687	1,349	338	0



資金の 使途の 流れ、 点検 評価 ・ 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○鞍の修復については漆の修復師は県内で1人のみであるため選定方法は妥当である。また、解説案内板の設置は県内で類似事業の施工実績を有する企業より見積を徴し精査のうえ選定したため妥当である。
	△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	△作業日数の縮小、職員立ち会いによる輸送費の削減等により当初計画の予算規模を下回ったが、予定していた作業は実施できた。事前の修繕方針、作業工程等を確定し予算規模を定める。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費用・使途については精査段階で検査を実施しており、目的に則し、必要なものであったと判断した。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	伊平屋村						
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-①	病害虫防除事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-ウ		
担当部課名	農林水産課	事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	農林水産物の安全・安心の確立		
事業内容	さとうきびの生産性の向上と農家所得の向上を目指し、収穫量低下の原因となっている病害虫(イネヨトウ)の被害を防ぐため防除作業を実施する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	8,160	7,860	7,694	7,693	7,693
		(b) 予算現額	8,100	7,860	7,693	7,002	7,693
		(c) 増減額(b-a)	▲ 60	0	▲ 1	▲ 691	0
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0
	A. 計(b+d)		8,100	7,860	7,693	7,002	7,693
	B. 執行済額		8,100	7,860	7,693	7,002	7,349
	うち交付金充当額		6,480	6,288	6,454	5,601	5,879
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	95.5%
予算の状況の説明		当初計画していた事業内容を全て実施した他、活動目標、成果目標の達成状況をみて、適正であったと考える。					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
	薬剤(性フェロモンチューブ)設置: 160ha		目標 (160ha)	(160ha)	(160ha)	(160ha)	
			実績 160ha	160ha	160ha	160ha	
		目標 ()	()	()	()		
		実績					
達成状況説明	伊平屋村さとうきび生産対象面積である160haに対し、目標通りフェロモンチューブを設置することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(23年度)	H28年度	H29年度	H30年度	目標値(年度)
	病害虫防除等によるサトウキビ生産量の安定化		目標 (1,758t)	(4,900t)	(4,900t)	(4,900t)	()
	H23年度 1,758t→H30年度 4,900t		実績	6,003t	5,366t	6,136t	
			目標 ()	()	()	()	()
			実績				
進捗状況説明	病害虫(イネヨトウ)の発生時期前に、初期防除を行なったため被害を最小限に抑えることができ、成果目標である生産量の目標値を上回ることができた。						

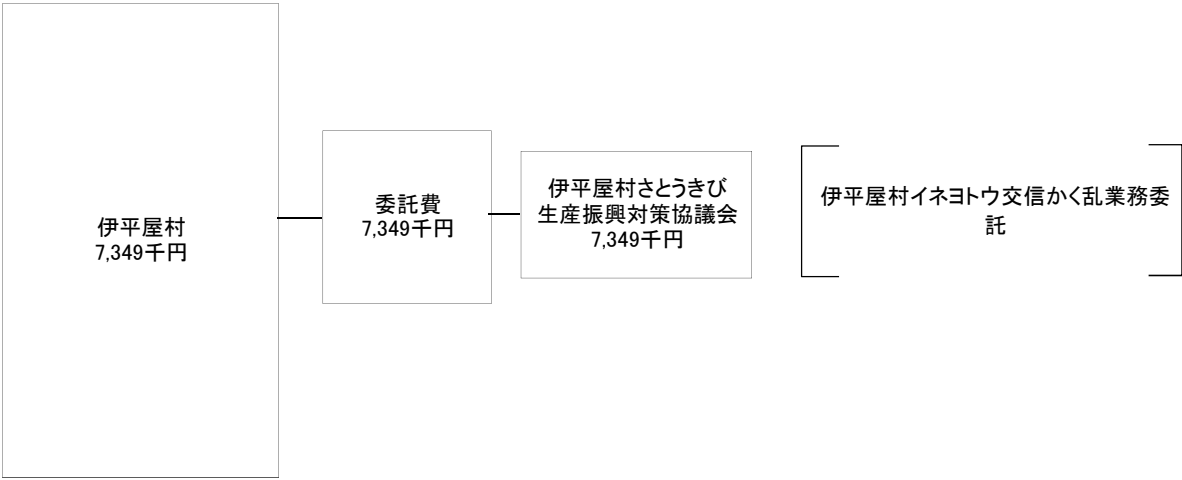
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>・フェロモンチューブは、直接病害虫を誘殺するものではなく、雌の性フェロモンと同様においが封入されている薬剤を設置することで雄を誘引し、雌の居所を妨害する防除のため交尾を阻害し、個体数の増加を防ぐことができる。しかし、誘殺等の減少効果とならないため、継続的な事業の実施が必要であり、またイネ科雑草・ほ場周辺縁部等の雑草に寄生するため、発生予防である周辺雑草の管理が必要である。</p> <p>・台風時期は風害等、フェロモンチューブ設置判断の難しい時期は避け、効果的な設置時期を推進し、生産組合・生産農家の協力のもと共同防除を行なうことが不可欠である。また、圃場の周辺に設置するため、収穫時等の作業の妨げにならないように実施が必要。</p>	<p>・持続的な実施と効果的な防除を行なうため関係団体・生産農家の理解のもと設置における協同防除を実施し、イネ科等の周辺雑草等の管理についても指導を行なう。</p> <p>・さとうきび生産安定化を図るため、JA及び生産農家、関係機関へ薬剤施用・適宜肥培管理等の指導・啓蒙の推進を図る。</p> <p>・沖縄県病害虫防除技術センター等の病害虫予察情報等を活用し、早期防除の推進を図る。</p>

今後の取り組み方針

イネヨトウの慢性的な発生の増加を防ぎフェロモンチューブ設置委託による防除を実施。JA及び生産農家・各関係機関と連携し、薬剤施用・適宜肥培管理等の指導・啓蒙を図り、さとうきびの安定的生産を推進する。また、病害虫(イネヨトウ)の生息しづらい環境作りも必要なことから、周辺の雑草等の管理についても生産者へ指導を実施する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
7,349	7,349	5,879	1,470	0



資金の 使途の 流れ、 費目 ・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先の選定方法については、村及びJA、生産農家等で構成されている伊平屋村さとうきび生産振興対策協議会を選定した。 ○予算規模については、事業内容に見合うものとする。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		伊平屋村					
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-③ 伊平屋村優良繁殖牛導入事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-ア		
担当部署名	農林水産課	事業実施(予定)年度	平成26~令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	おきなわブランドの確立と生産供給体制の整備 Ⅲ-1-(6)	
事業内容	農家の経営安定化を図るため、畜産農家が行う繁殖牛導入費用の一部(上限を40万として、購入費用の半額を補助)を助成する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		7,500	6,000	5,600	5,600	5,600
			5,250	6,000	5,590	5,600	5,600
			▲ 2,250	0	▲ 10	0	0
			0	0	0	0	0
			5,250	6,000	5,590	5,600	5,600
	B. 執行済額		5,250	5,800	5,590	5,535	5,544
	うち交付金充当額		4,200	4,640	4,472	4,428	4,435
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		100.0%	96.7%	100.0%	98.8%	99.0%
予算の状況の説明		前年度実績及び現状を踏まえ、村内畜産農家14名に対し、優良繁殖雌牛導入補助金の助成上限額を一頭当たり40万として計画し、事業計画どおり執行する事が出来た。					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)	達成状況					
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
	優良繁殖雌牛導入の支援(14頭)	目標	(15頭)	(14頭)	(14頭)	(14頭)	
		実績	15頭	14頭	14頭	14頭	
		目標	()	()	()	()	
実績							
達成状況説明	当初の計画通り、優良繁殖雌牛14頭を導入することが出来た。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)	基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)	
	【H30成果目標】 導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合 106%以上	目標	()	(106%以上)	()	()	()
		実績		108%			
		目標	()	()	()	()	()
実績							
進捗状況説明	本事業により導入した繁殖用雌牛から産まれた子牛のセリ値が高値で推移した結果、目標を達成する事が出来た。						

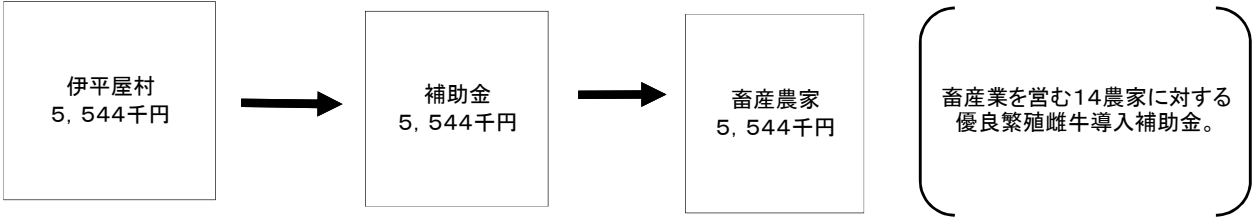
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>現在、県内において子牛のセリ値は安定的に推移しており、村内畜産農家の繁殖技術向上等もあり、当初の目標を達成することが出来た。</p> <p>しかし、子牛のセリ値については市場の状況により乱高下することもあることから、小・中規模の経営体が多数を占める本村においては、安定的な畜産経営が行えるよう中・長期的な経営計画策定や事業による支援等を引き続き行う必要がある。</p>	<p>県内外において、繁殖用雌牛のセリ値は依然として高値で推移しているため、繁殖用雌牛の導入においては、引き続き共同購入等で費用負担を軽減する。</p> <p>畜産農家への支援としては、繁殖技術の向上等について講習会の開催や他地区との技術交流支援を行う。</p>

今後の取り組み方針

本事業で導入した繁殖用雌牛から産まれた仔牛(雌)を新たな繁殖用雌牛として育成しつつ、引き続き事業による導入支援を行う。
 また、沖縄県畜産振興公社が開催する畜産共進会等へ積極的に参加することで繁殖技術の更なる向上と村内の繁殖用雌牛の改良・更新を図る。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
5,544	5,544	4,435	1,109	0



資金の 使途の 流れ、 費目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先は、村内の畜産農家全員を対象としており妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は、前年の実績値を元に積算しており適正である。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者への補助は、事業に係る費用の半額且つ上限額を定めており妥当である。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費用・使途については、事業目的である繁殖牛導入に係る費用の補助のみとなり適正である。

市町村名		伊平屋村					
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-①	伝統文化継承支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(1)-ア	
担当部課名	教育委員会	事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	地域を大切にし、誇りに思う健全な青少年の育成	
事業内容	島への誇りと愛着を醸成し、次世代を担う健全な人材を育成するため、伝統文化、伝統芸能について、老人会等との連携による課外講座の実施や保存会等の活動を支援する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	5,090	4,190	6,022	14,462	7,452
		(b) 予算現額	4,414	4,870	4,685	14,983	8,752
		(c) 増減額(b-a)	▲676	680	▲1,337	521	1,300
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0
		A. 計(b+d)	4,414	4,870	4,685	14,983	8,752
	B. 執行済額		4,414	4,870	4,684	13,944	7,084
	うち交付金充当額		3,531	3,896	3,747	11,155	5,667
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	100.0%	93.1%	80.9%
予算の状況の説明		芸能フェア出演の為、予算額を増額したが、宿泊先の調整が難航し、結果的に不用額が生じた。					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
	伝統文化教室の開催:14教室/11回		目標 (11講座(11回))	(14講座(11回))	(18講座(11回))	(14講座(11回))	
			実績 16講座(11回)	17講座(11回)	18講座(11回)	19講座(13回)	
島内芸能保存団体補助:8団体		目標 (8団体)	(8団体)	(8団体)	(8団体)		
		実績 4団体	6団体	6団体	6団体		
達成状況説明	○伝統文化学習講座について、児童生徒や講師の希望もあり、当初予定を上回る開設となった。 ○村芸能保存会において、8団体への補助を予定していたが、各区(5団体)での活動が中心となったことから、区の活動と他の芸能団体の活動を並行して行う事が難しく、結果団体への補助に留まった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H28年度	H29年度	H30年度	目標値(R1年度)
	伝統文化教室の参加者数:133名(伝統芸能保存会活動及び後継者育成)		目標 ()	(100名)	(100名)	(133名)	(144名)
			実績	154名	100名	146名	
	伝統芸能演舞者数 25名(伝統芸能の継承)		目標 ()	()	()	(25名)	(80名)
			実績			71名	
	伝統芸能公演の来場者数 323名(第2回いへや芸能まつり開催)		目標 ()	()	()	(323名)	(400名)
			実績			556名	
【R1成果目標】 ・伝統文化教室の参加者数:144名 ・伝統芸能演舞者数:80名 (一つの地区あたり16名*5集落) ・来場者数 400名		目標 ()	()	()	()	(左記のとおり)	
進捗状況説明	○継続的な伝統文化活動の日の実施により、昨年度より開設講座の開設数が目標を上回ったほか、参加人数も146名の参加者があり、目標人数が達成できた。また、各集落の主体的な取り組みを実践するため、前泊区においては昨年に引き続き、運営委託を行ったことで、スムーズな運営・取り組みができた。 ○村芸能保存会において、計画通りの実施が行われ、島内外での芸能公演にて目標を大きく上回る71名の演舞者となった。 ○平成30年度は、2日公演という事もあり目標値を上回る556名の方に来場頂いた。						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統文化教室では目標値より多くの参加者を確保できたものの、講座の種類の見直しや講師人材不足の問題も出てきており、今後も継続した講師の人材確保が必要となっている。 ・各字に残る伝統文化継承について、芸能公演等での演舞者や来場者ともに目標値を大きく上回る成果を上げているが、一方で地謡の後継者が不足しており、後継者の人材育成が必要となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各講座の講座種類や実施計画について講師陣と密な連携を図りながら、さらなる人材確保に向けて実施内容や取り組みの情報発信を強化する。 ・伝統文化継承について意識が高まっており、地域が主体となり地域住民の要望や意見等を取り入れた活動とすることでさらなる意欲向上を図る。また、地謡継承者については実践発表会等を実施し、後継者の技術の向上や意欲向上を図る。

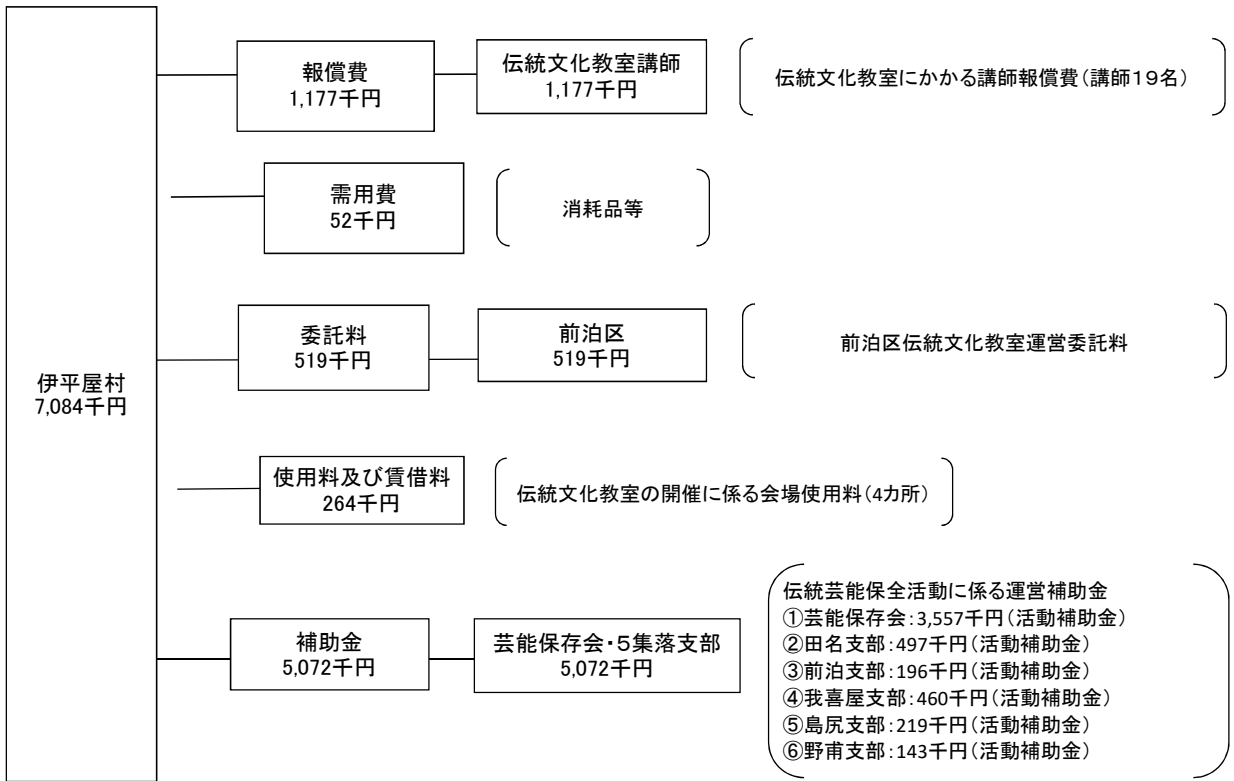
今後の取り組み方針

・伝統文化教室では、講師陣と密な連携を図り、新たな講師人材を確保できる講座種類や実施内容を検討すると共に、村内広報等を利用し情報発信の強化を図る。

・民俗芸能保存会を中心に地域住民の要望や意見等を取り入れた伝統文化継承活動とし、島内外でのイベントや芸能公演などの実践発表の場も確保することで、地謡を含め伝統文化のさらなる発展と意欲向上を図る。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		交付金	市町村負担金	
7,153	7,084	5,667	1,417	69



資金の 使途の 流れ、 費目 ・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先は、推進基盤となる芸能保存会とその各支部に限定しており、妥当であったと考える。
	△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	△芸能講演の際、宿泊先の調整が難航し不用額が発生してしまった。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○補助金に係る支出は事業執行に必要最低限な経費とし、それ以外は受益者負担であるため妥当である。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途については事業目的に即した経費について支出し適正であったと考える。

市町村名		伊平屋村					
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-② 特別支援教育支援員配置事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-5-(3)-ア		
担当部課名	教育委員会	事業実施(予定)年度	平成25~令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	確かな学力を身につける教育の推進 Ⅲ-3-(1)	
事業内容	個々にあつたきめ細かい学習支援を実施するため、特別支援教育支援員を小学校及び村内学習塾等、各所へ配置する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
		(a)当初予算額	5,022	6,696	24,090	24,652	20,768
	(b)予算現額	4,482	6,002	24,090	19,769	20,768	
	(c)増減額(b-a)	▲540	▲694	0	▲4,883	0	
	(d)繰越額	0	0	0	0	0	
	A.計(b+d)	4,482	6,002	24,090	19,769	20,768	
	B.執行済額	4,482	6,002	22,822	19,725	20,120	
	うち交付金充当額	3,397	4,641	18,258	15,779	16,095	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	94.7%	99.8%	96.9%	
予算の状況の説明	事業計画どおり、概ね執行できた。						
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
	特別支援員の配置1名	目標	(2名)	(1名)	(1名)	(1名)	
		実績	2名	0名	1名	1名	
	③学習支援員の配置2名	目標	(2名)	(2名)	(3名)	(2名)	
実績		2名	3名	3名	3名		
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校特別支援員については、1名が配置され、目標を達成した ・学習支援員については、対応する児童が増え需要増となったため1名を増員、目標は達成した。 						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H28年度	H29年度	H30年度	目標値(年度)
	対象となる児童生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応に満足したか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	目標	()	()	()	(80%以上)	()
		実績				80%	
	沖縄県学力到達度調査における平均正答率30%未満の割合の減少 正答率30%未満の割合 小学3年生:算数(11.6%以下) 小学5年生:国語(6.4%以下) 中学2年生:国語(12.6%以下) 中学2年生:数学(22.2%以下) 中学2年生:理科(35.6%以下) 中学2年生:社会(21.8%以下) 中学2年生:英語(23.8%以下)	目標	()	()	()	(左記、H30目標値)	()
		実績				小3算(14.4%) 小5国(13.1%) 中2国(11.1%) 中2数(15.3%) 中2理(33.3%) 中2社(16.3%) 中2英(16.6%)	
進捗状況説明	対象となる児童生徒・保護者のアンケートについては、80パーセント以上の回答を頂き、満足したと答えた声も多くみられた。また、沖縄県学力到達度調査における平均正答率30%未満の中学生の割合は減少している。今後は小学生の改善が必要。						

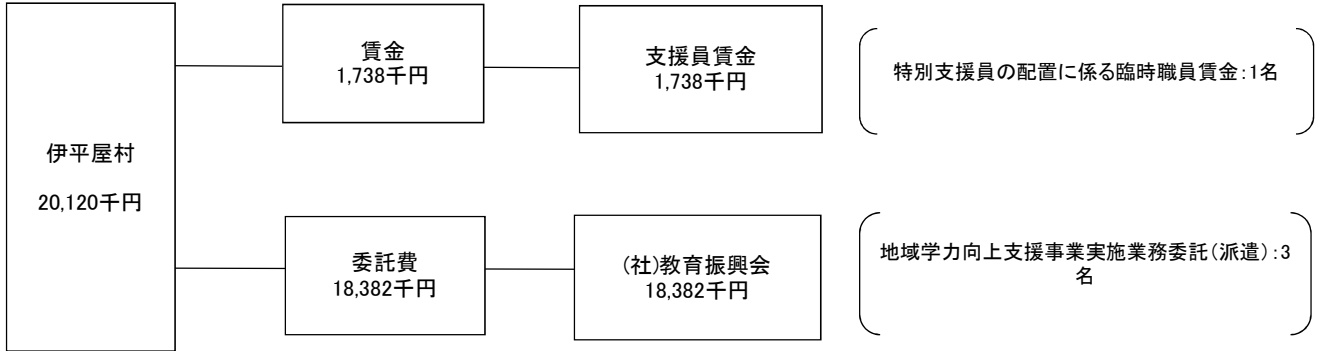
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> 支援が必要な児童生徒に対し、早期の実態把握を行い、保護者や学校現場との密な連携や外部の専門家との連携により、早い段階からの支援を推進する必要がある。 多様化する特別支援、学習支援の在り方について保護者ニーズを把握するとともに、学校・保護者との協力体制を築いていける方策を検討していく必要がある。 小学生の学力向上が課題となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 支援が必要な児童生徒に対し、早い段階からの支援を推進するため、保護者や学校現場との密な連携や外部の専門家との連携を行い、早期の実態把握に努める。 多様化する特別支援、学習支援の在り方について、学校・保護者と密な連携を図り、保護者ニーズを把握するとともに、保護者理解と協力をさらに得ることで、学校・保護者との協力体制構築に繋げる。 教職員の授業力向上に向け、特別支援教員と学習支援員との連携をとり計画的に支援・指導を行う事で、小中学校児童生徒の学力向上を図る。

今後の取り組み方針

- 支援が必要と思われる児童生徒に対し、昨年までの実施結果及び保護者や学校現場、外部の専門家の意見を踏まえて、早期の実態把握と支援実施に取り組む。
- 特別支援、学習支援の在り方について、学校・保護者と密な連携をとり、情報の共有化を図り、保護者ニーズを把握と保護者理解に努め、学校・保護者との協力体制を構築する。
- 特別支援教員と学習支援員との授業力向上に向けた支援・指導の充実と年間を通した計画的・組織的な授業改善を行い、児童生徒の学力向上に向け取り組む。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
20,221	20,120	16,095	4,025	101



資金の用途の流れ、費目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○有資格者の支援員を公募により選定したこと、委託費にかかる支出先については、業務実績、実務能力を精査し選定したことから妥当であったと考える。 ○不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。 ○費目や用途についても事業目的に即した人件費及び委託費の支出であることから、妥当であると考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限られているか。	

市町村名	伊平屋村						
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-③ 英語学習支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(4)-ア		
担当部課名	教育委員会	事業実施(予定)年度	平成25~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際社会、情報社会に対応した教育の推進		
事業内容	グローバルな時代に適応できる国際性豊かな人材を育成するため、小中学生を対象としたイングリッシュキャンプの開催による動機付けや、本校の中学生を海外に派遣し、異文化を体験する機会を与える。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		2,450	2,402	1,890	1,890	1,930
			1,994	1,974	1,890	1,890	1,930
			▲ 456	▲ 428	0	0	0
			0	0	0	0	0
			1,994	1,974	1,890	1,890	1,930
	B. 執行済額		1,470	1,974	1,456	1,834	1,832
	うち交付金充当額		1,176	1,160	1,165	1,467	1,465
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		73.7%	100.0%	77.0%	97.0%	94.9%
予算の状況の説明		事業計画通りに概ね執行することができた。					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
	海外短期留学(アメリカ):3名	目標	(3名)	(3名)	(3名)	(3名)	
		実績	3名	3名	3名	3名	
	イングリッシュキャンプ:20名	目標	(40名)	(40名)	(20名)	(20名)	
		実績	20名	16名	12名	32名	
達成状況説明	○海外短期留学について、7月から8月にかけて3名の村内中学生を米国に派遣し目標達成した。 ○8月初旬に伊平屋イングリッシュキャンプと称した英語学習スクールでは、目標人数を大きく上回る32名(小中学生)が参加し、3日間の日程で実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	参加者及び保護者へのアンケートにて、海外での生活・体験や外国人講師との交流を通して、児童生徒の国際的な視野がより広まったと感じたか検証する(80%以上)	目標	()	(80%以上)	()	()	()
		実績		80%			
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	参加者及び保護者へのアンケートで、海外での生活・体験や外国人講師との交流を通して、生徒・保護者の満足度は高かった。また、短期留学を終えても、さらなる目標を立て、一つ上の英検へ挑戦するなど生徒の意欲も高まった。					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>○海外短期留学では語学力もさることながら、海外での生活に順応出来るような精神面の強化や生活指導等を行う必要がある為、事前に保護者も含め丁寧なオリエンテーションを行う必要がある。</p> <p>○英語習熟度を高めるための英語検定試験の受験について継続的な推奨を学校と連携して行う必要がある。</p> <p>○イングリッシュキャンプの実施時期が夏休みであることから、児童生徒への早めの周知徹底と保護者への説明を通し、多くの参加者を継続して確保していく必要がある。</p>	<p>○海外での生活に順応出来るような精神面の強化を図るため、学校・保護者との連携を密にし、保護者を含めたオリエンテーションの実施や生徒への生活指導等を定期的実施する。</p> <p>○学校現場と連携し、児童生徒の英語学習への関心度を向上させるため、英語スピーチコンテストへの参加推奨や、英会話教室への積極的な参加を促し、英語検定試験の受験率向上を図る。</p> <p>○イングリッシュキャンプについては、学校現場と連携し、児童生徒への早めの周知や、夏休み期間中の実施について、保護者への理解と協力を得ることで、参加率の維持と向上を図る。</p>

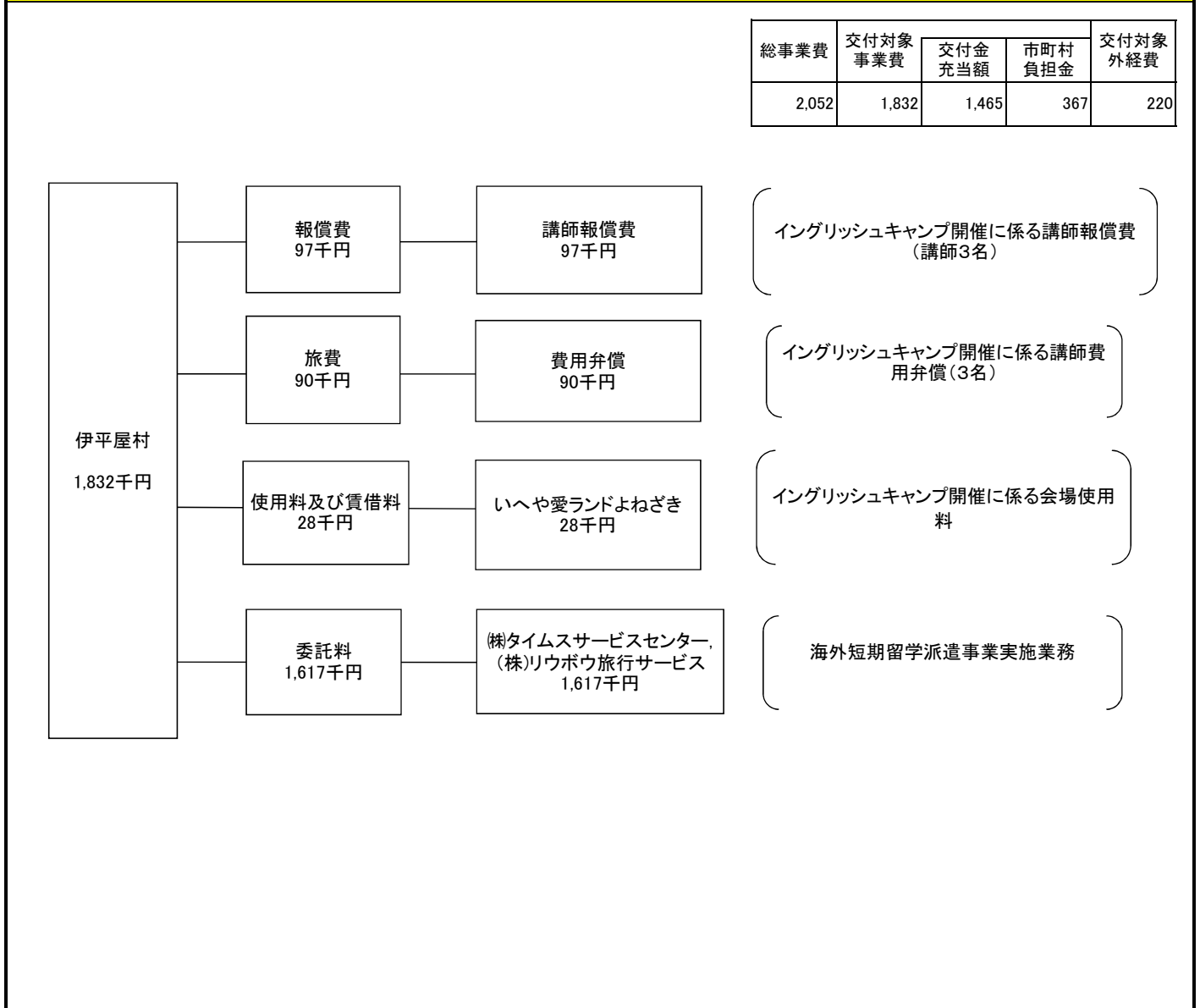
今後の取り組み方針

○学校・保護者との連携を密にし、保護者を含めたオリエンテーションの実施や生徒への生活指導等を定期的実施し、海外での生活に順応出来るような精神面の強化に取り組む。

○学校現場と連携し、児童生徒の英語学習への関心度を向上させるため、英語スピーチコンテストへの参加推奨や、英会話教室への参加を促し、英語検定試験の受験率向上に取り組む。

○イングリッシュキャンプについて、学校現場と連携し、児童生徒への早めの周知や、保護者への事前説明会を開催し理解と協力を深め、参加率の維持向上に取り組む。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流れ、費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○いへや愛ランドよねざきでのイングリッシュキャンプの実施は妥当であったと考える。また、海外短期留学の委託先は豊富な業務実績と留学前後の事前、事後指導を含めた委託内容から妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算については当初のイングリッシュキャンプ参加人数を上回ったが、計画通りに実施できた。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○短期海外留学においては事業費の10%を受益者が負担したことから妥当であったと考える。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途は事業目的にのみ限定したことから妥当であったと考える。

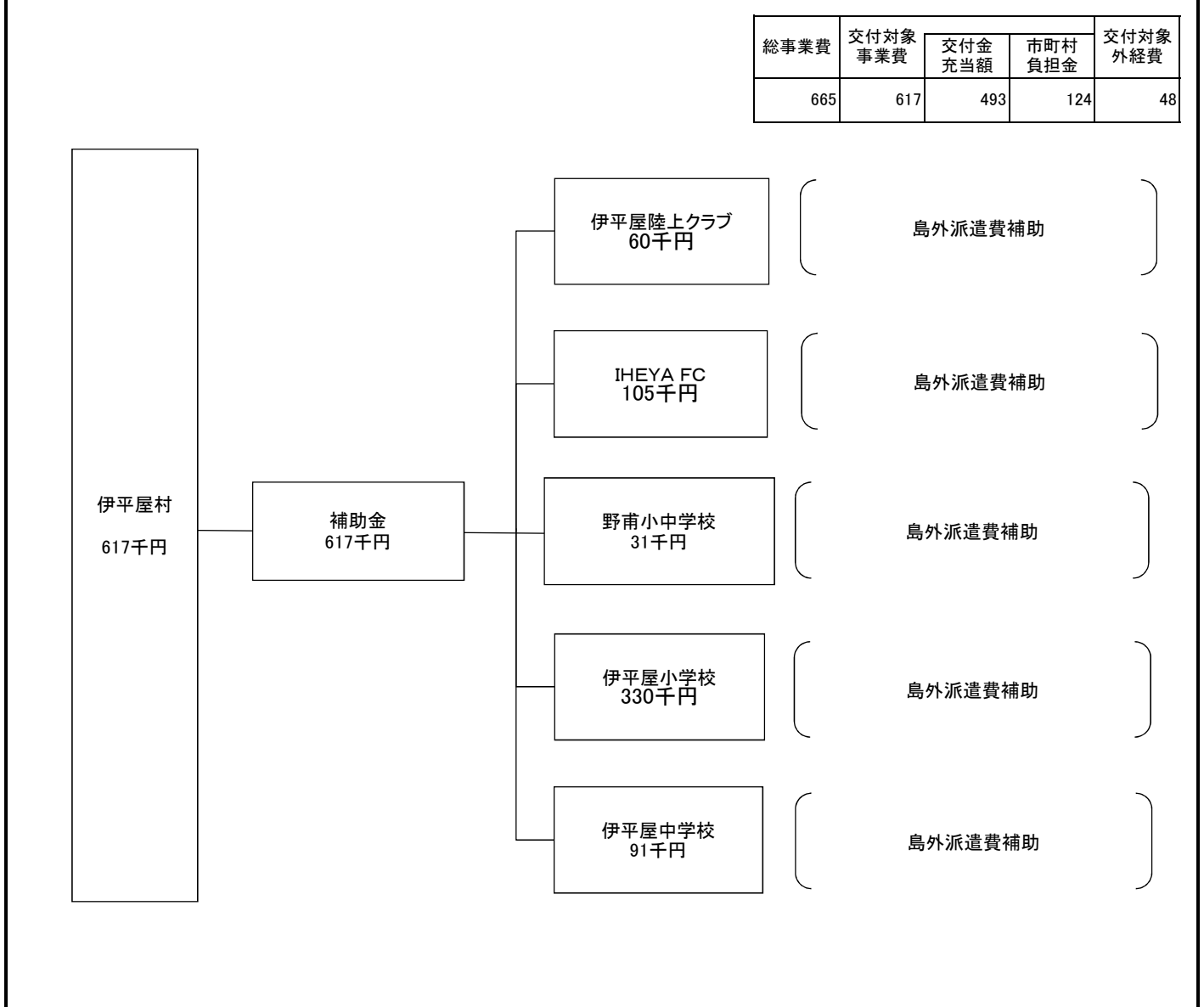
市町村名		伊平屋村					
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-④ 伊平屋島児童・生徒島外派遣等支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(2)-ア		
	担当部課名	教育委員会	事業実施(予定)年度	平成26~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	教育機会の拡充 Ⅲ-3-(1)	
事業内容	村外で実施されるスポーツ大会や文化交流等各種教育活動に積極的に参加し、離島の小規模校では経験できない他地域での各種体験を通し、児童生徒の健全な育成を推進するため、派遣費用を助成する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	3,830	2,564	1,880	1,906	2,135
		(b) 予算現額	3,830	2,799	1,880	1,707	1,635
		(c) 増減額(b-a)	0	235	0	▲199	▲500
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0
		A. 計(b+d)	3,830	2,799	1,880	1,707	1,635
	B. 執行済額		2,422	2,799	1,534	314	617
	うち交付金充当額		1,274	2,028	1,227	251	493
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		63.2%	100.0%	81.6%	18.4%	37.7%
予算の状況の説明		当初計画の枠内での運用であるが、大会により児童生徒の人数の増減があるため、派遣回数は当初の想定より下回った。想定していた大会が天候により出場できなかった件もあって、減額となった。					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
	島外開催イベント及びスポーツ大会、文化交流等への参加(小学生9回・のべ135名)	目標	(5回 110名)	(5回 110名)	(5回 97名)	(9回 135名)	
		実績	18回 243名	11回 150名	5回 97名	7回 88名	
	島外開催イベント及びスポーツ大会、文化交流等への参加(中学生6回・のべ324名)	目標	(6回 62名)	(6回 51名)	(6回 47名)	(6回 324名)	
実績		34回 306名	16回 110名	6回 47名	16回 135名		
達成状況説明	村内児童生徒対象の事業で、島外へのスポーツ大会や交流学习等への派遣を行ったが、天候不良等の影響にて参加・出場できなかったこともあり、目標回数、人数を達成することができなかった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値 (27年度)	H28年度	H29年度	H30年度	目標値 (年度)
	【参考指標】 補助の実施による保護者の経済的負担の軽減	目標	(経済的負担の軽減)	(経済的負担の軽減)	保護者の経済的負担の軽減	()	()
		実績	経済的負担の軽減	経済的負担の軽減	経済的負担の軽減		
	派遣された児童・生徒の保護者へのアンケートで、児童・生徒が広い視野を持てたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について検証する。	目標	()	()	()	(80%以上)	()
		実績				80%	
進捗状況説明	児童・生徒の保護者へのアンケート結果は、80%となり、目標を達成した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	島外への交通手段が、フェリー(海路)しかないため、天候等の影響を受けやすく、予定していた発表会やスポーツ大会への参加及び出場できない問題がある。しかしながら島内では体験できない学習機会やスポーツ大会への参加を通して知・徳・体のバランスのとれた児童生徒の育成の支援は必要であり、また保護者の負担軽減も含め、継続的な取組が必要となっている。	本事業の事業効果の向上を図るため、学校・保護者と連携を密にし、派遣日程を前期と後期で振り分け日程案を作成することで、天候不良等の不足の事態が発生した場合でも、代案にて対応できるよう、安定的な島外派遣の推進を図る。

今後の取り組み方針

学校・保護者と連携を密にし、派遣日程を前期と後期で振り分け日程案を作成し、天候不良等の不足の事態が発生した場合でも、代案にて対応できるよう、安定的な島外派遣の推進に取り組む。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



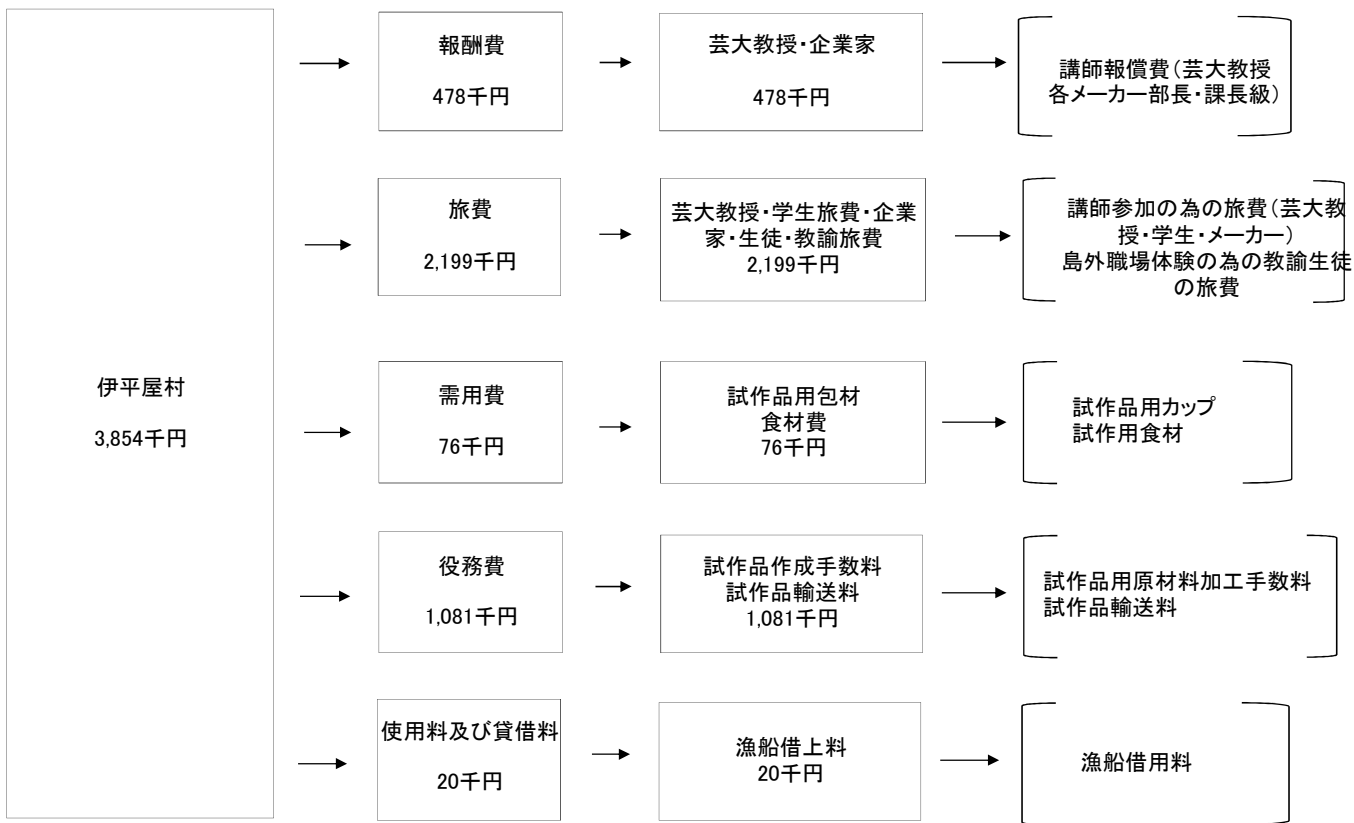
資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先は児童生徒の所属する団体であったことから妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○天候不良による不用額はあったものの予算の規模は適正であったと考えている。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○船運賃及び宿泊費以外の経費については受益者が負担していることから妥当であったと考える。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途は事業目的にのみ限定したことから妥当であったと考える。

市町村名		伊平屋村					
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-⑤	伊平屋島起業家人材育成事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(2)-ア	
担当部署名	総合推進室	事業実施(予定)年度	平成26年～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	教育機会の拡充 Ⅲ-3-(1)	
事業内容	将来、島で起業する力を身に付けさせるため、児童・生徒にキャリア教育を実施する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
		(a) 当初予算額	4,235	4,791	4,908	4,248	3,867
		(b) 予算現額	4,039	4,452	4,008	4,248	4,198
		(c) 増減額(b-a)	▲ 196	▲ 339	▲ 900	0	331
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0
	A. 計(b+d)		4,039	4,452	4,008	4,248	4,198
	B. 執行済額		4,039	4,442	3,787	3,604	3,854
	うち交付金充当額		3,231	3,561	3,029	2,883	3,083
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		100.0%	99.8%	94.5%	84.8%	91.8%
予算の状況の説明		学校側より、今年度職場体験の日数の追加要望があり、2日間追加となった為、旅費を331千円増額した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	・商品開発を通じた生徒への研修	目標	()	(研修の実施)	()	()	
		実績		研修の実施			
	・パッケージデザイン決定	目標	(デザイン決定)	(デザイン決定)	()	()	
		実績	デザイン決定	デザイン決定			
	・商品開発・職場体験を通じた商品の発表会	目標	(発表会実施)	(発表会実施)	()	()	
		実績	発表会実施	発表会実施			
	・本島への職場体験(商品の販売)及びマナー講座	目標	(実施)	(実施)	()	()	
		実績	実施	実施			
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・村内中学1年生が県内企業と共同で地域資源の掘り起こし等、特産品を通じた研修を実施し、特産品の商品開発からパッケージデザインの決定まで一連を通して実施した。 ・村内中学2年生は、本島にてマナー講座及び職場体験を実施した。また職場体験の一環として特産品フェアを開催し、平成29年度に自ら開発した特産品の販促体験を実施した。 ・中学1年生及び2年生共に、商品開発・職場体験を通じた発表会を実施した。 						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	キャリア教育を受けた児童生徒へのアンケートで、働くことへの興味・関心が湧いたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	目標	()	(80%以上)	()	()	()
		実績			83%		
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・当該事業の検証について、働くことへの興味・関心が湧いたかアンケートを実施したところ、目標値の80%を上回り83%であり、目標達成となった。 						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	(キャリア教育を受けた児童生徒へのアンケート) ・アンケート実施の結果、働く事への興味関心が湧いたと回答する生徒が多数を占めており、興味関心が湧かなかったと回答する生徒がごくわずかであったため、本事業の効果が得られていると考えられる。また、自らが開発した商品を販売することによる仕事への関心等を持つきっかけとなったことが目標達成の要因であると考えられる。	(キャリア教育を受けた児童生徒へのアンケート) ・本事業の性質上、直ぐに効果発現が得られるものではないため、継続的な取り組みが必要である。
今後の取り組み方針		
(キャリア教育を受けた児童生徒へのアンケート) ・引き続きキャリア教育に取り組むとともに、事業内容のとおり島で起業する力を身に付けさせるための授業プログラムの構成を行っていく。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金	交付金充当額	
3,854	3,854	771	3,083	0



資金 使途の 流れ、 点検 評価 ・ 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先については、この事業に突起した企業等を選択し、継続的な事業であるため、専門性が高く妥当であると考えられる。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は事業内容を精査したところ、事業内容に資する規模と判断したため妥当と考える。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については、事業目的達成の観点から必要なものなのか等について支出に関する書類により確認し、適正であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

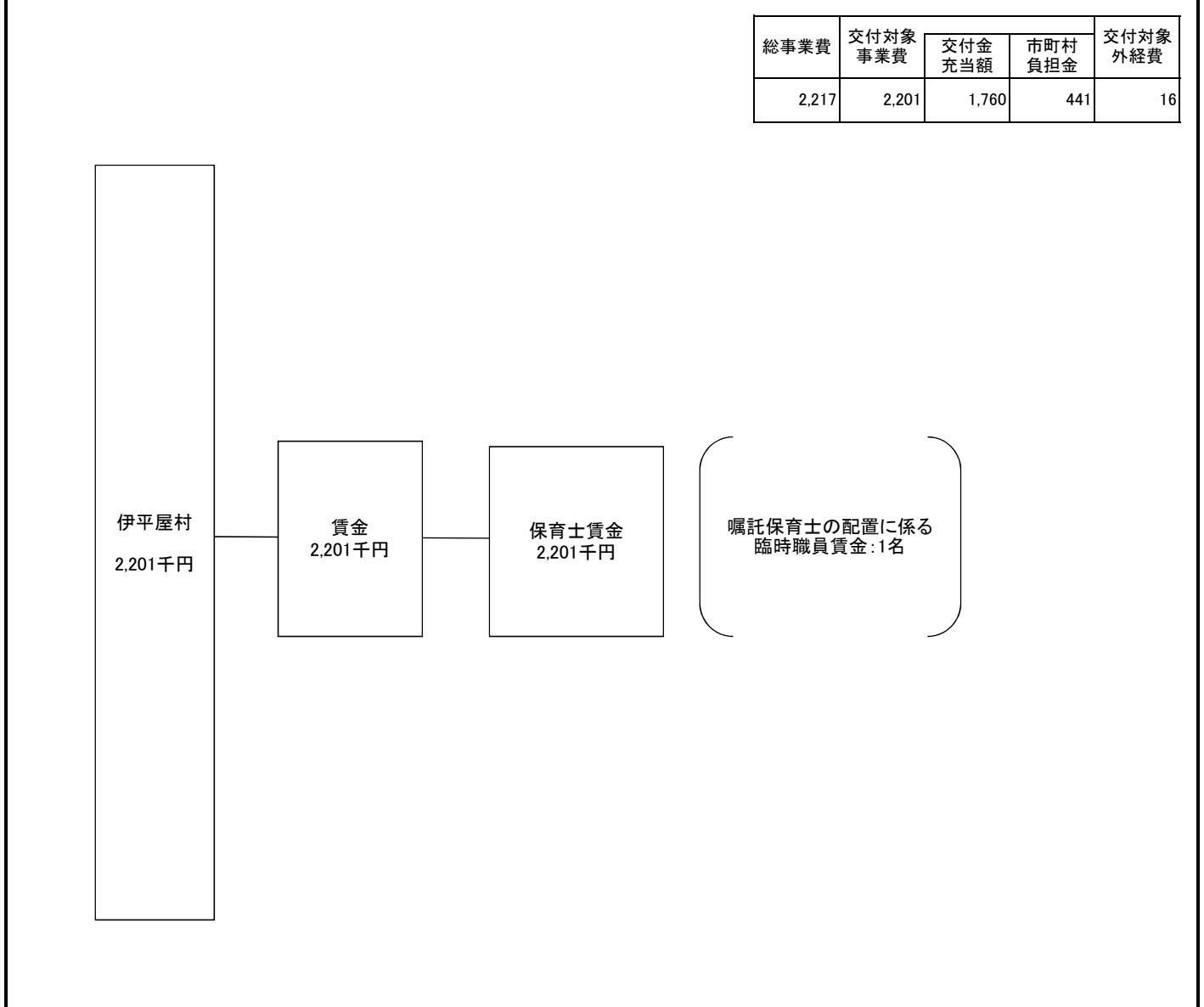
市町村名		伊平屋村					
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-① 幼稚園預かり保育支援事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-2-(2)-イ		
	担当部課名	伊平屋村教育委員会	事業実施 (予定)年度		平成24~令和3年度	地域における子育て支援の充実	
事業内容	伊平屋島の定住条件を整備するため、幼稚園預かり保育強化として嘱託保育士を配置する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)	予算の 状況	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
		(a)当初予算額	1,700	1,700	2,268	2,268	2,268
	(b)予算現額	1,729	2,066	2,268	2,268	2,268	
	(c)増減額(b-a)	29	366	0	0	0	
	(d)繰越額	0	0	0	0	0	
	A.計(b+d)	1,729	2,066	2,268	2,268	2,268	
	B.執行済額	1,729	2,066	2,208	2,157	2,201	
	うち交付金充当額	1,383	1,360	1,766	1,725	1,760	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	97.4%	95.1%	97.0%	
予算の状況の説明		毎月の勤務日数の変動により不用額67千円が生じたが、事業計画通りに執行することができた。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
	嘱託保育士の配置:1名		目標 (1名)	(1名)	(1名)	(1名)	
			実績 1名	1名	1名	1名	
			目標 ()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	伊平屋幼稚園において、年度当初の平成30年4月から平成31年3月の期間、保育士1名を配置した。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値 (H27年度)	H30年度	R1年度	E2年度	目標値 (年度)
	保護者へのアンケート調査を実施し、預かり保育により育児の負担感が軽減されたと感じたか 80%以上		目標 ()	(80%以上)	()	()	
			実績	軽減された 100%			
			目標 ()	()	()	()	
			実績				
進捗状況説明	・7名(幼稚園在籍幼児9名中)の預かり保育対象児童に対して預かり保育を実施し、すべての保護者が育児の負担感が軽減されたと回答し目標を達成できた。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・すべての保護者に育児の負担感が軽減されたと回答を頂いているものの、今後はさらに多様化する保護者ニーズに対応した預かり保育が求められている。</p>	<p>・多様化する保護者ニーズに対応すべく、代勤者や勤務体制、休日の設定等勤務環境とのバランスを取りながらよりよい幼児への保育サービスを提供していくうえで、預ける側、預かる側の相互理解を深めることが今後重要性が増すと考えることから定期的に保護者との意思疎通を図る必要がある。</p>

今後の取り組み方針

・対象児童の増減、保護者の入れ替わりに対し柔軟に対応しうよう、適正なスタッフの配置や管理体制について適時検証を行う。
 ・保護者との会合を定期的に行い、保護者側の意見等も取り入れるながら、意思疎通を図り、相互理解を深めるよう取り組む。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出費目は保育士賃金のみであり、公募による募集を行い選定したことから妥当であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は保育士1名の賃金であり、事業内容に見合った適正な規模である。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○保護者より預かり保育料を適切に徴収しており受益者との負担関係は妥当である。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。

市町村名	伊平屋村						
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-②	慢性疾患等通院時渡航費助成事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-イ	
担当部署名	住民課	事業実施(予定)年度	平成30年度	沖縄振興基本方針該当箇所	生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上		
事業内容	島外専門医療機関の受診に伴う渡航費を助成し、住民の経済的負担を軽減する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度					
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d) B. 執行済額		3,076				
			308				
			▲ 2,768				
			0				
			308				
		うち交付金充当額	246				
		次年度繰越額	0				
		執行率(%) (B/A)	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
		予算の状況の説明	当初想定していたより通院回数等が減った分の予算2,768千円を減額補正した。				
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)	達成状況					
			H30年度				
	広報誌等を活用し住民へ事業の周知。	目標	(事業周知)	()	()	()	
		実績	掲示物等で周知				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	渡航費助成一覧を作成し、公共施設等に掲示及び村内イベント等で紹介するなど住民へ広く周知した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)	基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)	
	渡航費支援が必要な住民への支援率100%	目標	()	(100%)	()	()	()
		実績		100%			
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	渡航費支援を必要とする住民に対して支給申請のあった対象者61人及び付添人25人、のべ86人全員に渡航費助成を行い、目標を達成した。					

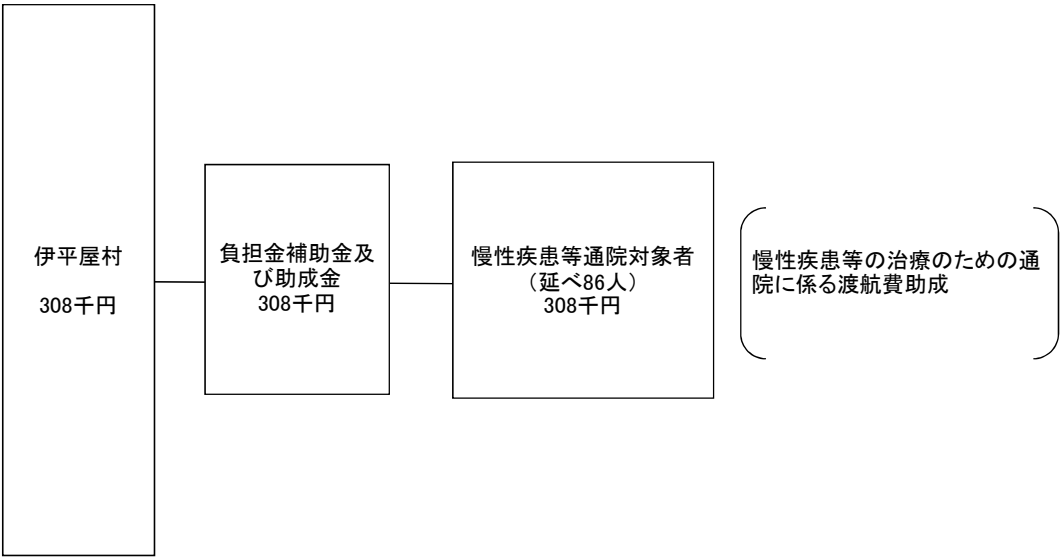
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・本事業は実際にかかった渡航費(実費)に対して支援を行うため、都度申請が必要となるが、対象者が手間を惜しんで申請しない、または申請手続きを忘れてしまうという課題がある。</p>	<p>・申請手続きの簡略化と、対象者との連携を密にし、適宜申請確認の連絡を行う事で申請漏れ防止を図る。</p>

今後の取り組み方針

・申請手続きの簡略化と、対象者へ適宜申請確認の連絡を行う事で、申請漏れ防止に努める。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
413	308	246	62	105



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先は助成対象者のみ該当するため、妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○申請に対しての助成となるため、事業内容に見合い適正である。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○離島の特殊事情に伴う地域格差は正に係る額を要綱に基づき助成するため、受益者負担は妥当である。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途については申請段階で審査するため、目的に即し、必要と判断している。

市町村名		伊平屋村					
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-③	ウェルネスいへや推進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-イ	
担当部署名	住民課	事業実施(予定)年度	平成27~令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上 III-9	
事業内容	運動習慣の啓発を図るため、フィットネスプログラム映像機器等を活用した健康イベントを実施する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
		(a) 当初予算額	4,891	3,207	4,710	2,309	
	(b) 予算現額	4,107	3,207	4,250	1,317		
	(c) 増減額(b-a)	▲ 784	0	▲ 460	▲ 992		
	(d) 繰越額	0	0	0	0		
	A. 計(b+d)	4,107	3,207	4,250	1,317		
	B. 執行済額	4,107	3,149	4,149	1,317		
	うち交付金充当額	3,258	2,519	3,319	1,053		
	次年度繰越額	0	0	0	0		
	執行率(%) (B/A)	100.0%	98.2%	97.6%	100.0%	#DIV/0!	
予算の状況の説明	フィットネスプログラム映像機器のサポート団体の来島人数の減及び健康教室等実施協力者の減により、旅費、報償費等992千円を減額補正した。						
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	毎月1回各字公民館等において健康教室の開催。	目標	(健康教室等12回)	()	()	()	
		実績	健康教室等45回				
	年2回ウォーキング大会の開催。	目標	(ウォーキング大会2回)	()	()	()	
実績		ウォーキング大会2回					
達成状況説明	健康教室等を45回、ウォーキング大会を2回実施し、目標を達成した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	各種健康イベントへの総参加者数600人以上	目標	()	(600人以上)	()	()	()
		実績		602人			
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	ウォーキング大会や健康教室等に602人が参加し、目標を達成した。						

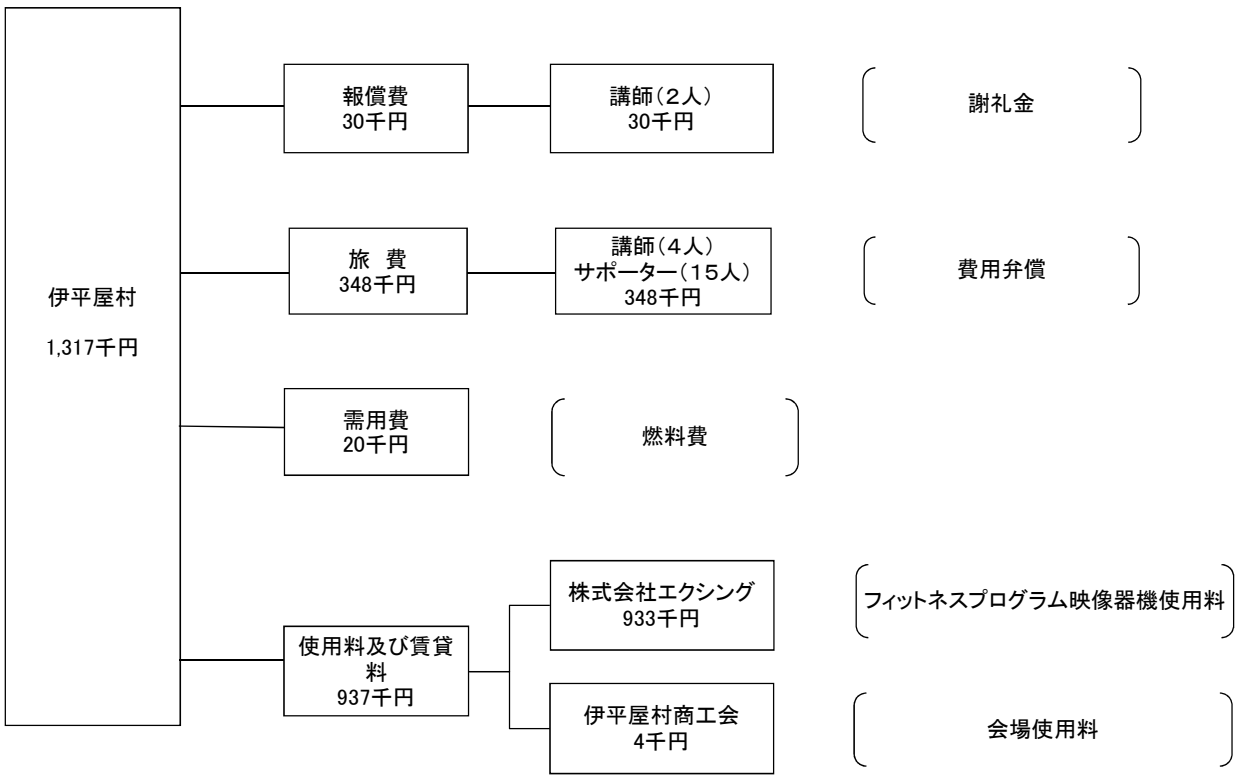
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・健康教室等目標値を超える多くの参加者を確保できているが、フィットネス映像機器の管理運用をできる者が限られているため、行政主体での開催となっており、継続した取組とするため、住民主体での取組に移行していく必要がある。</p>	<p>・行政担当者以外でフィットネス映像機器の管理運用ができる人材を確保し、住民主体でも健康教室等を実施できる仕組み作りを行う。</p>

今後の取り組み方針

・健康教室等にてフィットネス映像機器の使用や管理方法について説明会を実施し、住民側にて映像機器を運用管理できる人材を確保し、住民主導での健康教室の実施に取り組む。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
1,381	1,317	1,053	264	64



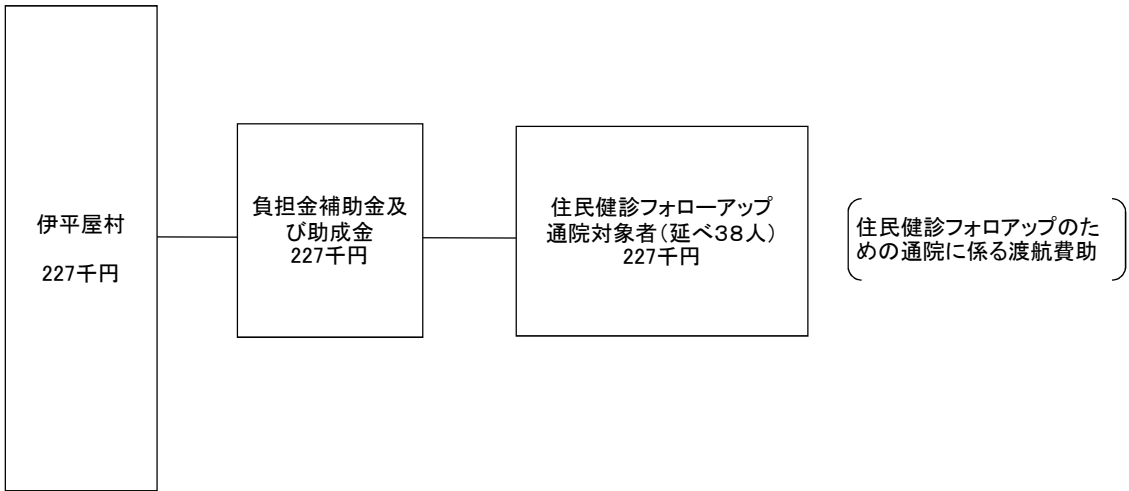
資金の流 れの点 検・費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○支出先については、フィットネスプログラム映像機器のサポート団体や専門的な講師招いた際の旅費や謝礼、機器等の借上料であり、本事業の運営に必要と判断したため妥当である。</p> <p>○予算規模については、事業内容にあった機器や講師謝礼等であり真に必要な経費を支出したため適正である。</p> <p>○費目・用途については、精算段階等で確認し、事業実施に必要なものであったと判断した。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	伊平屋村						
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-④	住民健診フォローアップ推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-イ		
担当部署名	住民課	事業実施(予定)年度	平成27~30年度	沖縄振興基本方針該当箇所	生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上 III-9		
事業内容	がん検診等において要精密検査となった者やメタボリック・シンドローム及びその予備軍を対象とした二次健(検)診の受診にかかる渡航費を支援する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
		(a) 当初予算額	1,114	1,094	912	912	
		(b) 予算現額	261	438	280	227	
		(c) 増減額(b-a)	▲ 853	▲ 656	▲ 632	▲ 685	
		(d) 繰越額	0	0	0	0	
		A. 計(b+d)	261	438	280	227	
		B. 執行済額	261	412	154	227	
		うち交付金充当額	209	330	123	181	
		次年度繰越額	0	0	0	0	
		執行率(%) (B/A)	100.0%	94.1%	55.0%	100.0%	#DIV/0!
予算の状況の説明	当初想定していた数より対象者が減少した分の予算685千円減を減額補正した。						
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)	達成状況					
			H30年度				
		広報誌等を活用して事業の周知徹底を図る。住民健診の結果説明時に精査及び二次検診の受診勧奨を行う。対象者に個別に受診勧奨を行う。	目標	()	()	()	()
			実績	掲示物等で周知対象者受診勧奨を実施			
			目標	()	()	()	()
	実績						
達成状況説明	渡航費助成一覧を作成し、公共施設等に掲示及び村内イベント等で紹介し、目標達成した。 受診勧奨については住民健診結果説明時に保健師等から対象者に受診勧奨を実施。説明会で受診勧奨できなかった者に対しては後日声をかけを行い、目標を達成した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)	基準値(年度)	H30年度			目標値(年度)	
		渡航費支援が必要な住民への支援率100%	目標	()	(100%)	()	()
			実績		100%		
			目標	()	()	()	()
			実績				
進捗状況説明	渡航費支援を必要とする住民に対して助成申請のあった対象者35人及び付添人3人、のべ38人全員に渡航費助成を行い、目標を達成した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度より診断が分かるまでの支援としたため、がんと診断された者に対しては沖縄県離島患者等支援事業にスムーズにつながられた。 ・島内での住民健診対象者については健診結果説明会等で個別でも周知しているが、その他島外での人間ドック等受診者に対し周知が不十分であった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・村内事業所と連携を図り、事業所の担当者を通して、当事業の周知徹底を図る。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> ・村内の事業所と連携を密にし、事業所の担当者への説明及び周知の協力を依頼することで、村内での事業周知に取り組む。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何をを行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
234	227	181	46	7



資金の 使途の 流れ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	<input type="radio"/>	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先は助成対象者のみ該当するため、妥当である。
	<input type="radio"/>	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○申請に対しての助成となるため、事業内容に見合い適正である。
	<input type="radio"/>	受益者との負担関係は妥当であるか。	○離島の特殊事情に伴う地域格差是正に係る額を助成するため受益者負担は妥当である。
	<input type="radio"/>	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途については申請段階で審査するため、目的に即し必要と判断している。

市町村名		伊平屋村					
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-⑤	自動車航送コスト負担軽減事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-ア	
担当部署名	総務課	事業実施(予定)年度	平成24年～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	交通・生活コストの低減	
事業内容	本村と島外を結ぶ唯一の交通手段である村営フェリーにおいて、住民生活を圧迫する要因となっている自動車航送運賃コストを軽減し定住環境の改善を図るため、その一部を支援する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	38,573	45,607	55,104	57,100	63,562
		(b) 予算現額	49,525	52,933	56,767	65,074	67,993
		(c) 増減額(b-a)	10,952	7,326	1,663	7,974	4,431
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0
		A. 計(b+d)	49,525	52,933	56,767	65,074	67,993
	B. 執行済額		47,568	52,933	56,635	64,464	67,993
	うち交付金充当額		38,054	42,346	45,308	51,571	53,394
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		96.0%	100.0%	99.8%	99.1%	100.0%
予算の状況の説明		前年度と同額程度の利用を想定し当初予算を計上したが、想定を上回る利用があったため補助金を4,431千円増額補正した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
	自動車航送運賃の低減 H30年度:年間6,240台 (H26年度:4,570台)	目標	(自動車航送運賃の低減年間4,380台)	(自動車航送運賃の低減年間5,448台)	(自動車航送運賃の低減年間5,496台)	(自動車航送運賃の低減年間6,240台)	
		実績	5,390台	5,455台	6,168台	6,493台	
			目標	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	設定した活動目標は達成できた。対前年と比較すると12ヶ月中7ヶ月が増加となっており、村民への事業周知が浸透してきていること、また村民の経済活動の活性化も図られていると考える。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	沖縄本島へ移動しやすい環境の構築が図られたか(80%以上)を含め、島民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	目標	()	(80%以上)	()	()	()
		実績		97%			
			目標	()	()	()	()
			実績				
進捗状況説明	島民へのアンケートを実施した結果97%の人が図られたと感じると回答している。このことから当事業において、医療機関への通院や冠婚葬祭、教育関係行事等沖縄本島における移動手段が確保されたことにより、村民の経済的負担の軽減が図られ、定住環境の改善がなされたと考える。						

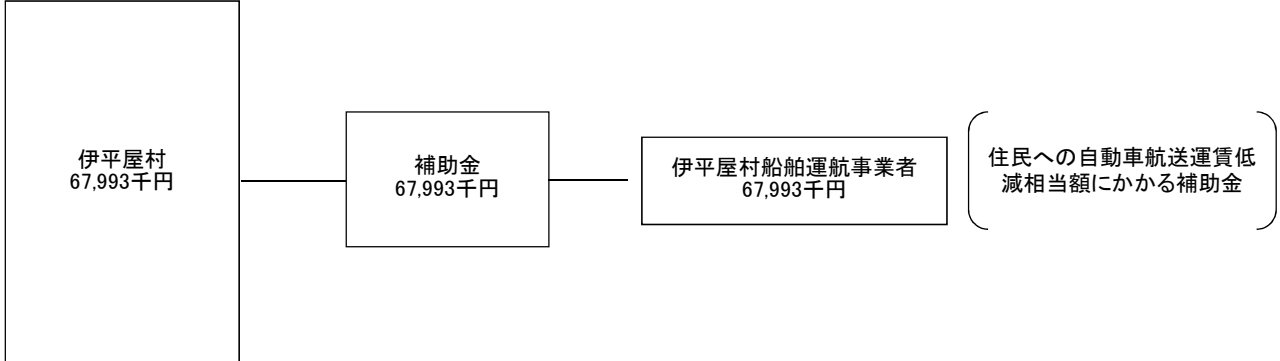
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・車両航送予約体制構築により運天港と前泊港双方での車両予約状況の齟齬(連絡ミス等)は減ったものの、乗船予約なしの車両乗り入れがあり、満車時のトラブルとなっている。</p>	<p>・チケット購入時、車両を乗せる場合の確認および確認済みの押印や、乗船者時のフェリー船員による押印確認等、2重チェックを行うことで安全な車両乗船を行う。また当確認体制の運用開始がスムーズに行えるよう村民や観光客への周知も徹底する。</p>

今後の取り組み方針

・車両予約確認体制を強化し、沖縄本島の窓口である運天港と本村フェリー及び当村の窓口である前泊港3方で情報共有を行い、より安全・安心な車両乗船が行えるよう取り組む。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
67,993	67,993	53,394	14,599	0



資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先については公益性があり妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、増額補正があったものの概ね妥当である。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者負担については沖縄離住民等交通コスト負担軽減事業を参考にしている(36.4%)のため妥当である。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途については、事業目的達成において支出等に関する書類により確認し適正であった。

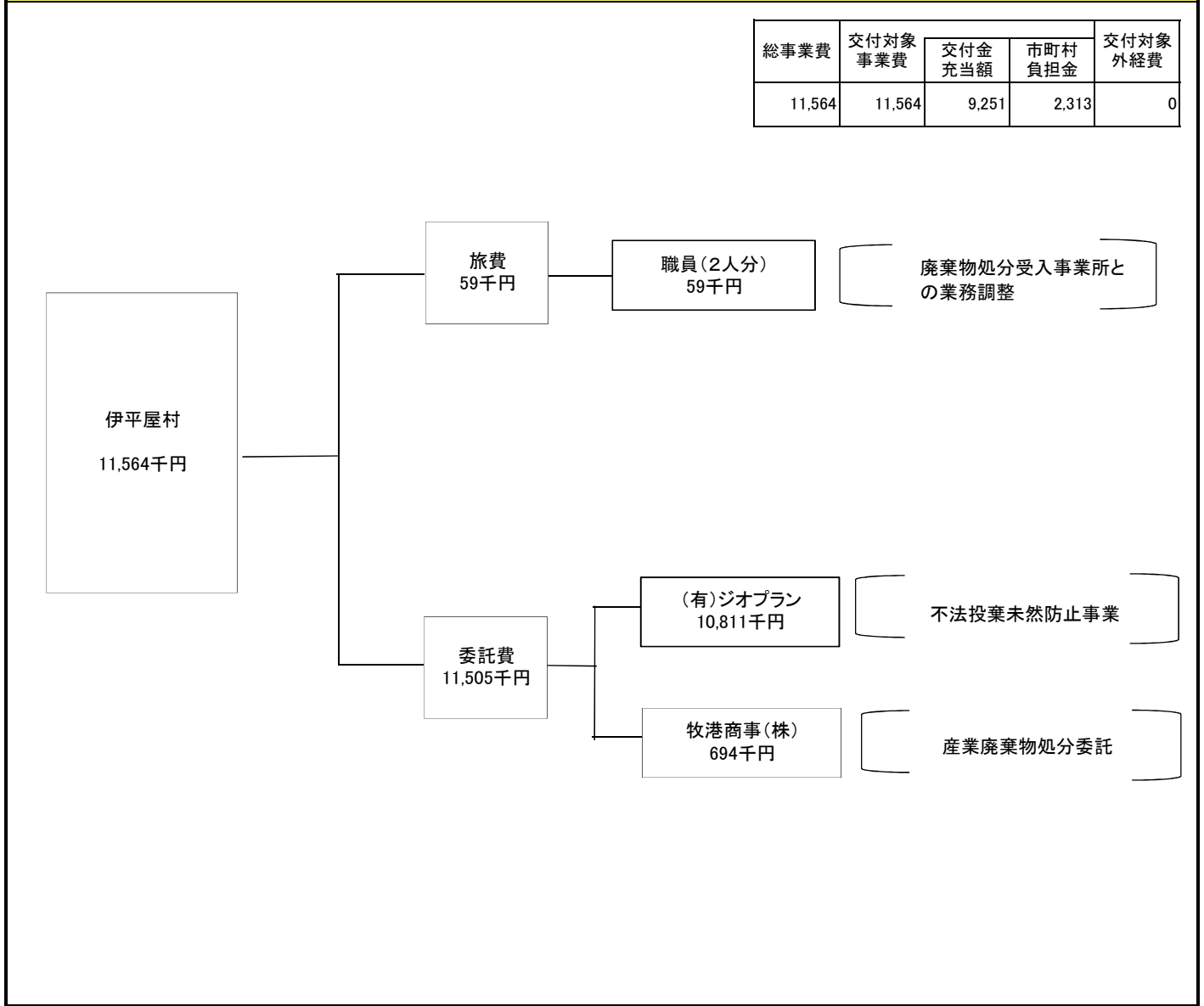
市町村名		伊平屋村					
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-⑥	伊平屋村不法投棄未然防止強化事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-イ	
担当部課名	住民課	事業実施(予定)年度	平成28年~30年度		沖縄振興基本方針該当箇所	生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上 Ⅲ-9	
事業内容	島の観光資源である自然環境維持保全と生活環境の改善を図るため、不法投棄の回収撤去を行うと共に、未然防止策を講じる。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H28年度	H29年度	H30年度			
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		3,000	30,000	17,964		
			3,000	29,400	12,264		
			0	▲ 600	▲ 5,700	0	0
			0	0	0		
			3,000	29,400	12,264	0	0
	B. 執行済額		2,905	27,886	11,564		
	うち交付金充当額		2,324	22,308	9,251		
	次年度繰越額		0	0	0		
	執行率(%) (B/A)		96.8%	94.9%	94.3%	#DIV/0!	#DIV/0!
予算の状況の説明		当初予算を計上したが、不法投棄されたごみの回収撤去が当初見込みより少なく、処理費用5,700千円減額補正ができた。					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	・残存、新規不法投棄の数量調査の及び撤去業務の委託実施	目標	(数量調査及び撤去業務の実施)	()	()	()	()
		実績	数量調査及び撤去業務を実施				
	目標	()	()	()	()	()	
実績							
達成状況説明	設定した活動目標は不法投棄撤去課所を全て網羅し、目標を達成した。 運搬回数 (有) ジョプラン1回 処理回数 牧港商事(株) 3回						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R3年度	目標値(年度)
	【H30成果目標】 不法投棄の発生件数 0件	目標	()	(0件)	()	()	()
		実績		0件			
	目標	()	()	()	()	()	
	実績						
進捗状況説明	・各集落の区長が委員となり、協議会を設立。各集落の不法投棄の現状・改善策が話し合われ、不法投棄箇所看板並びにロープで不法投棄箇所を囲うことで不法投棄箇所の「見える化」を行い、住民の意識の啓発を行えたことで目標を達成できた。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・村民や観光客等へ不法投棄に対する意識改革を行う必要がある。 ・集落から離れた箇所に点在する不法投棄箇所にも定期的にパトロールを実施する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・港湾内にゴミ分別、不法投棄防止のPOPを掲示したり、村内での諸般行事(各集落行事含む)の際にの呼びかけや、定期的な見回り等の対策を検討する。 ・定期的なパトロール等を実施するだけでなく、今回のように不法投棄課所には「見える化」の仕組み作りを行い、常に不法投棄を行う当該者の心に不法投棄の歯止めがかかるよう村民全体で取り組む。

今後の取り組み方針

- ・新たな不法投棄を防ぐため、不法投棄防止のPOPの掲示や看板の設置、集会時の呼びかけ及び定期的な見回り等を行うことで、意識改革を行う。
- ・各ポイントに分別ゴミ箱の設置を引き続き実施し、不法投棄物の内容を精査し、不法投棄者が分かる場合には、協議会から注意を促す等を実施する事で不法投棄0件を目指す。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、費 目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ○支出先については公益性が確保できるよう契約毎に複数社より見積を徴し精査・入札に附しており妥当である。 ○予算規模については、減額補正があったものの概ね妥当である。 ○費目・用途については、事業目的達成において支出等に関する書類により確認し適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		伊平屋村					
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-⑧	離島食品・日用品輸送費等支援実証事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-ア	
担当部署名	船舶課	事業実施(予定)年度	平成28～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	交通・生活コストの低減 Ⅲ-9	
事業内容	離島における割高な生活コストの低減を図るため、沖縄本島から伊平屋島、野甫島へ郵送される食品や衣類・履物、日用品、衣料品、保険医療用具・器具、家庭用電気製品等の輸送経費及び作業経費の支援を実施する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	5,080	3,546	3,892		
		(b) 予算現額	1,903	3,546	3,892		
		(c) 増減額(b-a)	▲ 3,177	0	0	0	0
		(d) 繰越額	0	0			
		A. 計(b+d)	1,903	3,546	3,892	0	0
	B. 執行済額		1,392	3,132	3,223		
	うち交付金充当額		1,113	2,506	2,578		
	次年度繰越額		0	0	0		
	執行率(%) (B/A)		73.1%	88.3%	82.8%	#DIV/0!	#DIV/0!
予算の状況の説明		年度末の事業者からの実績報告・領収書確認等が間に合わないため、3月分に関して3/22で締めて実績報告を行っている。その為、3/23以降分に関しては、単独予算で対応しているため不用額が生じている。					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	食品、衣類、履物、日用品、医薬品、保健医療用具、器具、家庭用電気製品等の輸送経費及び作業経費の支援	目標	(支援の実施)	(支援の実施)	(支援の実施)	()	
		実績	支援実施	支援実施	支援実施		
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	村内の主な6店舗で販売している食品、日用品等の輸送費の支援を実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値 (H27年度)	H28年度	H29年度	H30年度	目標値 (年度)
	生活必需品等の価格について、沖縄本島を100とした場合の本村の指標における事業実施前との差 0ポイント以下	目標	()	(0ポイント以下)	(0ポイント以下)	(0ポイント以下)	()
		実績	128.9ポイント	+1.3ポイント (130.2ポイント)	-5.6ポイント (123.3ポイント)	-10.3ポイント (118.6ポイント)	
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	年度当初より、村内の主な店舗が登録店舗となり事業スタートが出来たことにより、村内全域での生活必需品等の価格低減が図れたことで、価格指数は事業開始前(H27年度)の128.9ポイントよりも10.3ポイント低い118.6ポイントなり、目標を達成できた。また昨年度よりも沖縄本島の価格指数100ポイントにさらに近づけることができた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・本事業の取組内容等、継続的に情報発信したことで、購買者の認知も高まり、実績指数が前年度よりも4.7ポイント低い118.6ポイントとなった。しかし、村内購買者の認知度が不足しており村内店舗利用者が十分でなかったため、目標指数100ポイントを下回る結果となった。</p>	<p>・村広報誌へのチラシの折り込み、村内各所でのポスター掲示等、継続した情報発信を行い購買者への周知徹底を図るとともに、村内店舗の利用者増加も図る。</p>

今後の取り組み方針

村内へ本事業の周知を徹底するため、村広報誌へのチラシの折り込みや各所でのポスター掲示、村ホームページへ掲載等、継続した情報発信を行う。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
3,223	3,223	2,578	645	0



資金の流 れ、費 目・ 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○選定先については村の入口である港において輸送業を営んでいる企業は1社のみで適正であった。 ○予算規模は適正規模であったが、事業の性質上報償費及び旅費等に関しては参加者への支給が原則であるため予測できない減額があった。 ○費目・用途は事業目的に即し、必要なものに限定されていた。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	